キングジムCSRレポート・会社案内

2008

キングジムCSRレポート・会社案内 2008

KING JIM
株式会社キングジム
東京都千代田区東神田二丁目10番18号　〒101-0031

FSC ミックス品
FSC認証林および管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-001666
© 1996 Forest Stewardship Council

PRINTED WITH SOY INK
大豆油インキを使用し、印刷しています。

発行:2008年9月

KING JIM

会社データ（2008年6月20日現在）

商号	株式会社キングジム　KING JIM CO.,LTD.
代表取締役社長	宮本 彰
創業	昭和2年（1927年）4月
設立	昭和23年（1948年）8月
資本金	19億7,869万円
株式	東京証券取引所市場第一部　証券コード7962
従業員数	528人（連結1,177人）
所在地	東京都千代田区東神田二丁目10番18号
事業所数	支店・営業所・出張所…13　工場（国内）…2　物流拠点…3
連結子会社	株式会社キングビジネスサポート 株式会社Gクラッセ 株式会社ラドンナ 株式会社アスカ商会 P.T.KING JIM INDONESIA（インドネシア） KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.（マレーシア） 上海錦宮牧野国際貿易有限公司（中国） KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.（ベトナム）

当レポートの内容は、キングジムのホームページでも公開いたします。

Web Address　http://www.kingjim.co.jp/

内容についてのご質問、ご指摘、またご感想などは、ぜひ、メールでお寄せください。

Mail Address　webmaster@kingjim.co.jp

電話・FAXでのお問合せは、下記へお願いいたします。

株式会社キングジム 広報部

TEL　03-3864-7073　FAX　03-3864-9258

Contents

Top Message …… 2

トピックス …… 4

イノベーション&デザイン …… 6
開発型企業としての使命、キングファイルG（Gファイル）によるデザインイノベーション、ユニークな製品による新市場の開拓、「テプラ」の新しい需要を喚起するラインアップ、業界他社とのコラボレーション、情報セキュリティへの取組み

顧客に対する価値の提供 …… 12
営業視点でのCSコミュニケーション、顧客とのコミュニケーション、個人情報保護、環境意識の啓発、情報活用の啓発

環境経営の推進 …… 18
環境憲章の制定、環境推進体制、温暖化防止、廃棄物対策、マテリアルフロー、化学物質管理、環境マネジメントシステム、環境教育、環境会計

環境を意識した商品の取組み …… 24
環境問題への取組み、環境配慮設計

従業員の尊重 …… 28
人材の登用と活用、従業員のエンプロイアビリティ、人権への配慮、働きやすい職場環境の実現、いきいきと働ける職場づくり

広報・IR …… 32
ステークホルダーとのコミュニケーション、広報活動、IR活動、株主総会、決算説明会、個人投資家向け会社説明会

社会とともに …… 34
点字体験授業、インターンシップ、教育・スポーツ支援、国際社会とともに

マネジメント …… 36
経営理念、行動指針、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方、内部統制、CSRマネジメント体制の確立、コンプライアンス体制の確立、コンプライアンスプログラム

第三者コメント …… 40

カンパニープロフィール …… 41
組織構成、役員体制、財務データ、沿革、国内グループ会社、海外ネットワーク

編集方針　お読みいただくにあたって

キングジムグループは、2006年度から「CSR報告書」の発行を開始し、キングジムグループが行っているCSR（Corporate Social Responsibility＝企業の社会的責任）にかかわる活動を、ご報告してまいりました。

今年度（2008年度）からは、主要財務データ・国内外ネットワークなどを掲載した「会社案内」と統合し、名称を「CSRレポート・会社案内」と改めます。

「CSRレポート」部分の編纂に関しては、特に以下の点に配慮いたしました。

記述項目は、以下のガイドラインの項目を参考に、網羅的に配慮しつつ厳正に選定し、当社グループの状況を記載しております。

- 「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」（GRI）
- 「社会的責任（CSR）経営自己評価シート」（経済同友会 2005年）
- 「環境報告ガイドライン 2007年版」 環境省
- 「環境会計ガイドライン 2005年版」 環境省

対象期間

記述の対象期間は、2008年度（2007年6月21日～2008年6月20日）の内容を中心としております。ただし、ご理解を深めていただく必要に応じて、この期間の前後の内容についても記述しております。

対象範囲

キングジムグループ全体に関する内容を主としておりますが、株式会社キングジムに限定した記述に関しては、「キングジム」と明示し、「キングジムグループ」と区別しております。

新しいものを作り出し、「世の中のお役に立てること」を目指しています。

［トップメッセージ］

top message

株式会社キングジム　代表取締役社長
宮本　彰

Q.キングジムとは、どんな会社ですか?

発明家だった私の祖父の宮本英太郎が1927年に創業した、情報整理用品の専門メーカーです。現在の主力製品は「キングファイル」に代表される各種の事務用ファイルと、ラベルライターの「テプラ」です。

祖父は発明家だったと申しましたが、「世の中にない新しいモノを作る」ことに情熱を燃やした人で、現在のキングジム製品にも、そのスピリッツは生きていると考えています。「キングファイル」と「テプラ」は、共に国内市場シェア60%以上のナンバーワン商品ですが、これらは、「それまで世の中になかったモノ」を、キングジムが初めて商品化し、ユーザー様に受け入れていただいた、その結果です。

当社の経営理念は「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」というものですが、ここに私たちの思いがこめられています。

Q.キングジムがCSRを意識されたきっかけは?

キングジムは先代の社長時代から、「企業は社会の公器である」という認識で経営されてきました。そういう意味では、先輩方のコーポレートガバナンスの意識が非常に高かったのです。

2001年に東京証券取引所の市場第二部に上場し、2005年に第一部に指定いただきましたが、この過程で上場企業として透明性の高い経営に取り組むことの重要さを認識してまいりました。

また、文具事務用品の分野におきましては、「環境への配慮」は、法人のお客様の意識の高さもあり、重要な課題です。私自身は学生時代からバードウォッチングや釣り、スキューバダイビング等で自然に親しみ、環境保護の重要性を強く感じており、環境に配慮した製品と、企業活動そのものの環境への負荷低減に今後も取り組んでいきたいと思います。

Q.近年、マスコミでお客様の信頼を裏切るような事件が話題となっていますが、どのようにお感じですか?

代表的なものは、食品の産地や賞味期限の偽装ですね。お客様との信頼関係を築くためには、大変な努力と時間がかかりますが、信頼関係が崩れるのは、一瞬です。これは「商道徳」として許されないことですし、消費者はこのような「嘘」に対しては決して許さないのだということを認識すべきです。

2008年に問題となった製紙会社の古紙偽装問題では、当社の部材に使われていた紙の古紙配合率も偽られ、対応に追われました。当社は被害者ですが、結果としてユーザー様に対して古紙配合率の表示違いの製品を提供してしまった責任を感じます。当社の立場として、できる限りの対応をし、誤解を解くよう表示訂正を行いました。

Q.ステークホルダーとのコミュニケーションをどのようにとられていますか?

様々なステークホルダーの皆様に支えられて当社は活動しています。

顧客とのコミュニケーションでは、当社の場合は長期に亘りご愛用いただいているユーザー様が多く、そのため、お客様相談室のCS活動やホームページを活用した情報提供で長期の信頼を育てる事を重視しています。

株主･投資家へのコミュニケーションでは、上場企業として公正かつ適格な情報開示を行い、年二回の決算説明会に加え、個人投資家向けにも説明会を開催しております。

社会へのコミュニケーションとしては、広報活動を活発に行うとともに、この「CSR報告書」を年1回発行しており、これで3回目の発行となります。今回は「会社案内」と統合しました。会社案内は、当社を初めて知る方のためのご案内ですが、当社のプロフィールをCSR的な観点から見ていただくことが、みなさまの信頼を得ることになると思います。

最後に従業員とのコミュニケーションについて。ステークホルダーとのコミュニケーション活動も、具体的には従業員が企画運営しているのですから、社長にとっては従業員とのコミュニケーションはきわめて重要だと思っています。昨年から社内ブログを始め、社内で部門間を越えた自由な発言･意見交換のできる環境を作りました。私はほぼ毎日ブログを書き、できる限りのコミュニケーションをはかっています。

Q.ステークホルダーの皆様へのメッセージを

キングジムは創業から80年以上、「世の中のお役に立つ製品を作る」という高い志を持って努力を積み重ねてまいりました。

この「CSRレポート」におきましては、自分たちの現状を率直に把握し、ご報告いたします。まだ至らない点も多いことと思いますが、忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。

これからも、皆様から信頼される企業として邁進してまいりたいと存じますので、なにとぞご支援くださいますようお願い申し上げます。

topics

［キングジム トピックス］

KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.

キングジム・ベトナム　KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.を設立

2007年4月、キングファイルを中心とした事務用ファイルの製造を目的として、キングジムの子会社、キングジム・ベトナムを設立いたしました。キングジム・ベトナムは、日本国内のファイル需要に対し、積極的な対応を行うための生産工場です。所在地は、ホーチミン市より車で1時間程度の郊外に位置したビンズン省のミーフック工業団地です。ベトナム南部は船便での輸出が多く、港湾が整備されているため日本への直行便が多いことで知られております。

ベトナム経済は、1980年代中ごろの刷新(ドイモイ)政策による改革以降、中央政府による計画経済から開放経済へと移行することに成功いたしました。近年では、東アジアで中国に次いで高成長率を維持しており、若年層が多く人口構成が望ましいことや、政治・社会情勢が安定的であることから、力強い経済成長を遂げております。

キングジム・ベトナムでは、すでに竣工式を終え、本格稼動に向けてキングファイルなどの生産を開始しています。

キングジム・ベトナムの現地スタッフ

「テプラ」誕生から、今年で20周年

新コンセプトで「テプラ」市場を活性化

1988年に誕生した「テプラ」は、「誰でも簡単に美しいラベルが作れる」という商品コンセプトが受け入れられ、「ラベルライター」という新しいジャンルを代表するブランドに育ちました。

その「テプラ」が、今年、2008年で20周年を迎えました。20周年を機に「テプラ」は、その開発コンセプトを見直し、「もっとユーザーに身近なラベルライター」を目指すことを宣言しました。

2008年5月には、これまでに無い斬新なデザインの新製品「テプラ」PRO SR600、SR3700Pを発表し、大きな反響を呼びました。さらに、9月にはお子様に大人気の「ポケモン」のキャラクターを印刷できるポケモン「テプラ」を発表。入園入学シーズンの学用品への名前つけなど、新たな需要喚起を図ってまいります。

よりユーザーに身近なラベルライターへと、「テプラ」20周年目の新しいチャレンジが始まっています。

2008年5月、「テプラ」PRO SR600・SR3700P新製品発表会

「株式会社アスカ商会」をグループ会社に

アーティフィシャル・フラワーで独自の強みを発揮

2008年3月、アーティフィシャル・フラワー（造花）やクリスマスデコレーション、インテリア雑貨の輸入・企画・販売を行う「株式会社アスカ商会」をグループ会社としました。

「株式会社アスカ商会」は、花材流通業界、店舗装飾業界、などを主な販売チャネルとして、業務用造花の企画・販売を行っています。業界内で「asca」ブランドは、「これまでの造花のイメージを変えた」という高い評価を得ており、墨絵の美意識を反映させた「Sumiesque」（スミエスク）シリーズなど、新しい試みにも積極的に取り組んでいます。

キングジムグループの中期的な成長戦略のひとつとしての、本業の周辺領域（インテリア商品）への展開があげられます。「株式会社アスカ商会」のグループ化は、このような成長戦略の一環と位置づけております。

「造花」のイメージを「アーティフィシャル・フラワー」に変えた「株式会社アスカ」の商品群

顧客と社会への貢献となるような新商品の開発を目指します。

PEOPLE FILE... 01

電子文具開発部　開発課

写真左から

仲村 知記 Tomoki Nakamura

植原 隆行 Takayuki Uehara

堀井 信之 Nobuyuki Horii

お洒落なインテリア空間に溶け込むSR600、Macユーザーにも対応したパソコン接続専用のSR3700P、そして「ポケモン」のキャラクターをラベルに印刷できるSR-PDP1。ユーザーの、より身近で使っていただくための、新しい「テプラ」の開発に取り組んでいます。

開発型企業としての使命

独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する――この経営理念は、キングジムの商品開発姿勢に示されています。直近の1年間で、品番ベースの新商品数は87点。ファイル関連商品69点、電子文具18点と、活発な新製品開発を展開しています（2007年7月～2008年6月）。もちろん、開発件数だけでなく、市場にイノベーションを引き起こす商品開発を意図して、新しい発想を大切に、新しい市場を構築する積極的な活動を展開しています。

「もっと、ひとりひとりのユーザーのそばに」

「キングファイル」「クリアーファイル」「テプラ」など、キングジムの主力商品は「それまでは世の中に存在しなかった」ケースが多く、新しいジャンル・新しい市場を作ってきた画期的な商品でした。しかし、大ヒットして急成長を続けたこのような大型商品も、やがては安定的な成熟市場になってきます。

ラベルライター「テプラ」は、1988年に国内初の漢字変換が可能でコンパクトなラベル作成機として発売が開始され、今年で20周年を迎えます。発売以来、現在も日本語ラベルライターの国内シェアトップ※のブランドとして、「テプラ」はラベルライターの代名詞となっています。

20周年を契機に、「テプラ」は、新しい開発コンセプト「もっと、ひとりひとりのユーザーのそばに」を掲げました。高品質や使いやすさに加え、「使う人、一人一人の仕事や生活の環境に寄り添い、もっと個性的であること」にこだわった商品は、多くのユーザーに迎えられ、市場に刺激を与えました。

※ 国内シェアトップ
矢野経済研究所調べ

● キュービック「テプラ」

「もっと、ひとりひとりのユーザーのそばに」というコンセプトの第一弾は、これまでの事務用品としての「テプラ」の概念を、「デザイン」で変えた「テプラ」PRO SR600。スタイリッシュな外観は、店舗や住空間でもインテリア小物のようにフィットします。

「テプラ」PRO SR600

● ポケモン「テプラ」

お子様から絶大な人気を得ている「ポケモン」のキャラクターをラベルに印刷できる「テプラ」PRO SR-PDP1は、ご家庭での「入園入学時の学用品のお名前付け」という市場で大きな反響を呼んでいます。外観デザインは、アニメに登場する「ポケモン図鑑」をモチーフにしています。この商品の開発も「もっと、ひとりひとりのユーザーのそばに」のコンセプトに基づいています。

「テプラ」PRO SR-PDP1

©Nintendo•Creatures•GAME FREAK•TV Tokyo•ShoPro•JR Kikaku ©Pokémon

「テプラ」PRO SR3700P

新たな価値を創造する。

創業者である宮本英太郎が1927年に考案した「人名簿」以来、キングジムの歴史は、文房具というユーザーの身近な分野において、世の中にない「便利さ」「使いやすさ」という新たな価値を作り出してきました。

宮本英太郎
1893-1975 キングジム創業者。和歌山県出身。東京で「人名簿」「印鑑簿」の発明家として活動を開始し、1927年に株式会社キングジムの前身である「名鑑堂」を創業。数多くの独創的なファイル・バインダーの開発、製品化に尽力した。1958年黄綬褒章、1965年勲六等旭日単光章。

人名簿

キングファイルG(Gファイル)によるデザインイノベーション

東京オリンピック開催の1964年、オフィスイメージを一新させるような「キングファイルG(旧称Gファイル)」が発売されました。誕生のきっかけは、当時取引先だった企業からいただいた「工場で使う際に油で手が汚れたままファイルを触るとファイルの背が汚れてしまう」というご意見でした。商品の使われ方、置かれる環境、分類方法、タイトル表示の方法、大量使用された場合のシステム性、インテリア性などあらゆる事項について検討を重ねました。結果、背表紙を全面白の見出しとする斬新なデザインを提案。背見出し紙は汚れ防止のカバーを付け、黒枠の中に記号色となる赤·黄·緑·青の4色を用いた四角いパターンを採用しました。白地にカラフルなスクエアパターンはオフィスの環境を明るくしました。黒枠により、中の色がしまって見え、ジャンル別に収納した際、4つの色がすぐに判別できます。これがこのファイルの特長であると認められて現在も受け継がれ、キングジムオリジナルの背見出しデザインの原型「スクエアパターン」になりました。

キングファイル

キングファイル スーパードッチ<脱·着>イージー

キングファイル スーパードッチ<脱·着>イージー

1964年の「キングファイルG」発売後、業界初の左右両開きパイプ式ファイル「キングファイル ドッチ」、開閉操作性を高めた「キングファイル ニュードッチ」「キングファイル スーパードッチ」を次々に発売。更に、とじ具と表紙を脱着式にすることにより、各々を再使用するという新たな価値提案を行った「キングファイル スーパードッチ<脱·着>N」は、現在の主力商品となっています。そして2008年7月にその脱着操作性を更に進化させた「キングファイル スーパードッチ<脱·着>イージー」を発売しました。このファイルは、表紙部分ととじ具部分を分別する際に、表紙部分にとじ具のパーツが残らない機構になっています。

「キングファイル スーパードッチ<脱·着>イージー」開発者コラム

開発本部 **羽田 達也**

今回開発した新脱着機構は、厚型ファイルの分別、リユースが想定より多くのユーザーに行われていることに着目し開発しました。既存の脱着式ファイルですと、完全に分別するためには表紙と背見出しの間にあるパーツも外す必要があり、今後リサイクル等が更に活発になった際、ユーザーの負荷が大きいと考え、固定具がとじ具側の一方向から完全に外せる機構を開発しました。素材も従来のPP(ポリプロピレン)とポリカーボネートという2種類から、単一のPP素材に統一した、よりリサイクルしやすい商品です。最近環境対応の声も大きく、開発者として何ができるのかと日々考えており、特に気を使っているのが、省資源(使う材料を少なくする)、単一素材もしくは分別をしやすくすることでリサイクル性を高めることです。この思想は新製品の「キングファイル スーパードッチ<脱·着>イージー」に反映されています。

ユニークな製品による新市場の開拓

家庭向けファイルシリーズのラインアップ強化

取扱説明書ファイルを代表とする家庭向けファイルシリーズとして、「家庭の医療ファイル」「領収書ファイル」等、「整理するもの別」に特定した、使いやすいファイルを開発。同シリーズがひとつの商品カテゴリーとして大きく成長しつつあるため、よりわかりやすく覚えやすい名称として、身の回りの収納に困るものをスキッと整理させる「スキットマン※」というブランドを作りました。利便性を明確に伝えつつ、親しみ感のある「スキットマン」ブランドは、今後の家庭向けファイルシリーズの成長とともに定着するように育てていきます。

※ スキットマン
現在、「スキットマン」ブランドとして全14種の商品を展開しています。

● スキットマン 出前メニューファイル

社内外からの要望が多かったアイテムのひとつが、この「出前メニューファイル」です。出前メニューやクーポン等、毎日は使わなくても、いざという時に活用できるファイルです。

● スキットマン 家庭の小物ファイル

ファイルというと紙や資料を整理するツールを連想しますが、「家庭の小物ファイル」はあらゆる小物類を整理・収納できるファイルです。今まで上手く整理できなかった小物類を簡単に収納・検索できます。

● スキットマン 通帳&カード収納ケース

中身が落ちないファスナー式の仕様で大切な収納物に合わせた設計になっています。通帳以外にキャッシュカードや振り込み用紙など、銀行関連のものを一括収納できるケースです。

新規市場への参入 ネームカードホルダー「ナピタ」

未参入市場への投入にあたり、「商品の使いやすさ」を研究しました。その結果、商品化に至ったものがネームカードホルダー「ナピタ」です。装着中のネームカードの裏返りが起こりにくく、「首から下げて使用する際、“名前”カードがいつでも正面に向いて“ピタッ”と安定する」をコンセプトにして商品開発を行いました。

❶ 首にかけたまま表と裏の切り替えが可能なタイプ
❷ 伸縮自在のリールでカードリーダーへのタッチが便利なタイプ
❸ カードケースをスライドさせて脱着可能なタイプ
❹ ストラップ自体の巻き取り伸縮が可能なタイプ
使用シーンに合わせた4種類をラインアップしました。

NAME CARD HOLDER NAPITA

ネームカードホルダー「ナピタ」

①切り替えタイプ

②リールタイプ

③スライドタイプ

④巻き取りタイプ

1988年に発売した
初代「テプラ」TR55

「テプラ」の新しい需要を喚起するラインアップ

1988年にラベルライター「テプラ」を発売して2008年で20年を迎えました。

「テプラ」は、オフィスをはじめ、家庭やショップ、公共機関、病院などで幅広くお使いいただき、今ではファイルのタイトルや備品の整理や案内表示に欠かすことができない商品となりました。更に多様なニーズにお応えし、市場を拡大するラインアップを取り揃えています。

点字「テプラ」(「テプラ」PRO SR6700D)

点字「テプラ」は、「自動点訳機能」によって点字の知識がない方でも簡単に点字ラベルが作成可能です。また、点字と印刷文字の両方を1枚のラベルで表示できるため、逆さまに貼ってしまうなどのミスを防ぐことができます。

健常者は点字の内容や存在に気づきやすくなり、障がい者をサポートする意識の向上が期待できます。

点字「テプラ」(「テプラ」PRO SR6700D)

中国語「テプラ」(「テプラ」PRO SR530C)

中国限定販売

現在めざましい成長をしている中国。それにともなって表示需要が拡大しています。キングジムでは、国内主力モデルであるSR530をベースに中国語(簡体字)化を図り、2007年9月中国市場へ参入しました。中国語ラベルライターでは初めて予測変換機能など最新の機能を搭載しユーザーの皆様から大変好評をいただいています。

中国語「テプラ」(「テプラ」PRO SR530C)

テープカートリッジ

様々な使用状況に対応した「テプラ」テープ。テープの反射を防ぐマット加工を施し、店舗などでスタイリッシュに使える「マットラベル」シリーズや、人気キャラクター「ポケモン」を採用し、お子様のお名前ラベルを楽しく演出できる「ポケモンラベル」。また、既存の白一色だったアイロン転写ラベルがカラフルになり新登場しました。テープのバリエーションもますます豊富になり、お客様の個々の要望にお応えできるラインアップを目指します。

「テプラ」PRO
テープカートリッジ マットラベル

「テプラ」PRO テープカートリッジ ポケモンラベル
©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku ©Pokémon

業界他社とのコラボレーション

新たな取組みとして、住友スリーエム株式会社(3M社)とのコラボレーション商品を企画しました。キングジムのベストセラー「キングファイル」等を活用するためのサプライズ商品の位置づけで、「キングラベル」の商品名で発売しております。

3M社の「ポスト・イット®フラッグ」を「ファイル」での活用に便利な内容でパッケージングしました。パッケージには「Post-it®Brand」のロゴマークを併記して、コラボレーション商品であることを示しています。書類の端に分類見出しの耳をつける「インデックス」、細かな分類に適した「透明見出し」、書類を汚さずにピンポイントで重要部分をマークできる「ポインター」の3種類と、「ポインター」と「透明見出し」を組み合わせた「マーキングキット」からなります。半透明フィルム製なので丈夫で破れにくく、貼っても下の文字や絵が隠れません。また、鉛筆やボールペンで書き込みが可能なので、検索の際にも便利です。いずれも、ファイルとの親和性が高く、ファイルユーザーが文書活用する上での利便性向上をご提案してまいります。

※ポストイット、Post-itは3M社の登録商標です。

キングラベル

キングラベル

情報セキュリティへの取組み

個人情報保護法や金融商品取引法の施行により情報管理ニーズは年々高まりをみせ、情報の的確な管理は重要な経営課題となっています。しかし、情報漏えいの事件・事故は依然として後を絶ちません。漏えい経路の約半数は「紙文書から」で、また、その要因は「管理ミスによるもの」という調査結果もあり、紙文書をいかに管理するかが情報漏えい対策上の重要なポイントとなります。いくら「カギ付書庫」で保管しても、機密文書、重要文書、一般文書を混在させたままでは、セキュリティ以前に情報の活用ができません。

キングジムでは、情報セキュリティと情報活用を両立させるためRFID技術を活用したファイリングナビゲーションシステムを開発しました。紙文書の運用管理を簡単に行えるファイリングソフトと、ファイルの貸し出し・返却の履歴管理をリアルタイムに自動で行うRFID文書管理システムと、RFIDタグを埋め込んだキングファイルの組み合わせにより、紙文書の有効活用と情報セキュリティの実現を目指しています。

FILING navi
ファイリングナビゲーションシステム
ファイリング・navi

ファイリング・navi

お客様の信頼を得る誠実なコミュニケーションを重視しています。

PEOPLE FILE... 02

東日本営業統括部　東京支店　営業一課

胡桃澤 雄

Yuu Kurumizawa

多くのお客様が来場されるISOTの展示会場は、製品をPRするとともに、製品に対するお客様の声を伺う絶好のチャンスです。代理店様、小売店様との信頼関係を基盤に、価値ある製品をユーザー様にご提供することに努めています。

営業視点でのCSコミュニケーション

内部統制に対応するユーザーへの啓発活動

内部統制に欠かせない文書管理。この取組みを支えるためにファイリング方法をご提案しています。

顧客の内部統制に関わる文書管理についてのお悩みを解消するべく、文書管理診断を実施し、お客様の課題に応じた適切なファイリングの提案を通じて業務改善に寄与しています。

また、流通各社様と共同でセミナーを開催し、地域顧客に密着したファイリングの提案を行っています。

特にPCリンク機能を持った「テプラ」とラベル作成ソフト「データ貼る蔵くん」（内部統制版）との組み合わせは、背見出しタイトルとインデックスラベルの作成が手軽にできると大変ご好評をいただいています。

● 内部統制

日本版SOX法が求めるもの

内部統制の構築・運用には企業活動の実態を文書・記録に表すことが必要

文書管理が重要なポイント

決算公告／情報開示請求

様々な要請に応えるには文書管理を適切に機能させることが必要です。

日本版SOX法と文書管理

金融商品取引法（日本版SOX法）では、企業に対し、財務報告が適正に行われていることを自らチェックを行い、証明していく仕組み＝内部統制の構築を求めています。初年度は、文書化、評価・報告に至るプロセスと、さらに2年目以降も継続していくため、文書・記録を適切に保存する体制（仕組み）が必要となります。

ユーザー訪問

よりよい製品作りや営業活動の改善に役立てるため、お客様との接点を増やしたり、ご意見を拝聴したりする活動を実施しています。

お客様のオフィスへ直接当社セールスがご訪問し、お悩み事項をヒアリングしています。そこから課題を明確にした上で解決策をご提案することで、より満足度の高いシステム導入を実現しています。

更に、当社ファイリング研究室ではファイリングシステムの導入を、コンサルティングにより支援しています。

営業知識テストの実施

顧客満足の向上につながるよう、セールスおよびセールス・スタッフは毎年営業知識テストを受験しています。出題範囲は一般常識から商品知識、特注品に関する専門的な技術知識など、お客様からの要求に応えられるように幅広く設定されています。

お客様との接点を大切に、誠実に対応　　しています。

顧客に対する
価値の提供

顧客とのコミュニケーション

継続的コミュニケーション

顧客満足の向上には、お客様との継続的コミュニケーションが不可欠です。キングジムではお客様からの問合せの窓口として「お客様相談室」を設置し、お客様からのお問合せに迅速に対応しています。ホームページ(http://www.kingjim.co.jp/)では商品の紹介だけでなく、電子文具のFAQページや各相談窓口を設け、ウェブサイトによるお客様とのコミュニケーションを図っています。

その他、「ファイル」をご使用いただいているお客様で組織されたFB会員※1および、「テプラ」をご使用いただいているお客様で組織された「テプラ」貼ってよかったclub※2を運営し積極的にお客様との情報交換・情報提供を行うとともに、定期的な新製品等の最新情報をお届けするツールとしてメールマガジン「KJ-TIMES」※3の配信を行っています。

また、内部統制や情報セキュリティなど情報管理に不可欠で年々需要が増加しているファイリングに関しては「ファイリング研究室」を設置し個別のファイリング相談の他、定期的な「ファイリングセミナー」も開催しています。

ISOT(国際 文具・紙製品展)などの展示会への参加や営業マンによるユーザー訪問も積極的に行い、商品のご案内をするとともに、お客様の声に耳を傾けることに努めています。

お客様相談室(ユーザー対応)

お客様相談室※4はお客様とキングジムを直接結ぶ重要な情報のパイプです。東京・名古屋・大阪・福岡の全国4ヶ所に設置し、フリーダイヤル・メールを中心としたお客様からのお問合わせやご意見・ご要望に「正確・迅速・親切」をモットーに日々お応えしています。2008年度は8万6千件のお問合せをいただきました。

お客様相談室での対話から得たお客様からの生の声は、キングジムグループの貴重な財産として社内各部門にフィードバックし、企画・開発・設計・製造・販売・サービスなどすべての事業活動において、顧客満足向上に向けた取組みの源泉となっています。

CS部 東京お客様相談室のメンバー。
大阪・名古屋・福岡にもお客様相談室を設置している。

※1 FB会員
ファイル、バインダーを多く採用いただいている企業や組織の方々を対象に情報提供等を行う会員組織です。

※2 「テプラ」貼ってよかったclub
『「テプラ」貼ってよかったclub』では、ユーザーに応募いただくなどの方法で、様々なラベル表示の活用事例をご案内しています。

※3 メールマガジン「KJ-TIMES」
ユーザーの皆様に新製品や便利な商品活用情報などをお伝えするメールマガジン『KJ-TIMES』を配信しています。

※4 お客様相談室

フリーダイヤル全国共通
0120-79-8107
受付時間:平日(月曜日～金曜日)午前9:00～午後5:30
携帯電話・PHSをご利用の場合は、以下をご利用ください。
東　京 03-3864-1234
大　阪 06-6263-1654
名古屋 052-935-4038
福　岡 092-413-3977
●ホームページアドレス
http://www.kingjim.co.jp/

個人情報保護

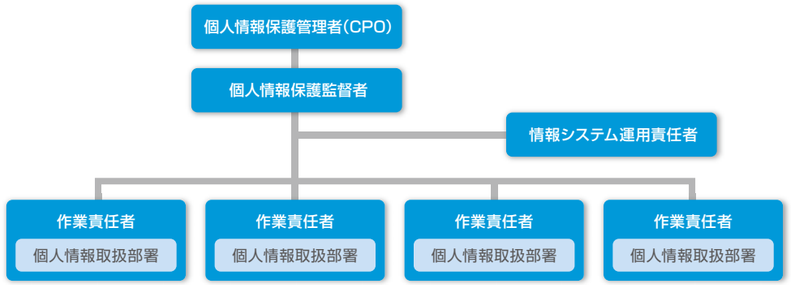
個人情報保護の強化

キングジムは、2005年4月に完全施行された個人情報保護法に対応するため、同年4月に個人情報管理規程を制定し、適切に運用を実施しています。また、内部監査を適宜実施しており、万全を期しております。

個人情報保護に関する内部監査実施結果の報告

2007年に実施した内部監査の結果、個人情報管理規定に違反した事実はありませんでした。今後も引き続き適切な運用を継続いたします。

個人情報管理の組織および体制



情報セキュリティ委員会の活動

適切な情報マネジメントシステムを構築し、維持・運営するために全社の各部門から委員を選出した情報セキュリティ委員会を設置しています。委員会は下記の役割を担っています。

(1)情報資産の価値評価
(2)情報資産のリスク分析・評価
(3)リスク対策の決定

個人情報や、営業秘密情報を適切に管理できるよう情報セキュリティを更に強化するための活動を実施しています。

情報セキュリティ・ガイド

国内のキングジムグループ全社に対し、「情報セキュリティ・ガイド」を発行し、2008年4月1日から運用を開始いたしました。このガイドにより、役員および社員全員が情報セキュリティについて学び、日々実践できるように取り組んでいます。この取組みの結果は1年後に情報セキュリティ委員会にて評価し、現場にフィードバックできるよう運営する仕組みとなっています(ガイドの内容は非公開としています)。

当社が取得している情報セキュリティマネジメントの認証マーク。

[登録番号]
JQA-IM0268
[組織]
(株)キングジム営業本部
営業推進部(特注課を除く)
[所在地]
東京都千代田区東神田2-6-9
アルテビル東神田II　3階
[登録範囲]
①ファイリングコンサルティングサービスの提供および関連する商品の販売・関連業務(ファイリングソフトウェア開発、教育資料作成)の実施
②顧客(社内含む)に対する商材の企画・提案・販売と生産関連業務(仕入・受発注・在庫管理)の実施
[登録日／改訂日]
2005年9月9日／2006年9月8日
[審査登録機関]
JQA
(財団法人　日本品質保証機構)
[認証取得番号]
・ISO/IEC27001:2005

JQA-IM0268

「環境配慮商品」、「情報活用」の情報　　発信を行っています。

総合カタログ

環境配慮商品カタログ

※1 キングジム環境マーク
キングジム商品の素材や使用時・廃棄時の情報について、お客様自身が判断できる様にカタログに掲載した独自のマーク

※2 エコユニット
eco検定合格者が中心となってグループを結成し環境活動を行い、活動の取組みを対外的にPRする

環境意識の啓発

地球環境への意識が高まる中、キングジムには事務用品メーカーとして環境配慮商品を供給していく責任があります。商品における環境配慮ポイントはさまざまありますが、お客様に対して正確に伝える事ができなければ意味がありません。再生材使用・分別廃棄・リユース 等々、商品の環境情報をあらゆる手段を用いて提供し、キングジムならびにキングジム商品の理解が得られるよう、環境意識の啓発に取り組んでいます。

印刷物の発刊

全商品を掲載した「総合カタログ」、その中から環境情報を抽出して編集した「環境配慮商品カタログ」を各々発刊し、環境配慮商品の紹介をしています。

環境展示会への出展

国内最大規模の環境展示会「エコプロダクツ」（主催:産業環境管理協会、日本経済新聞社）に、1999年の第一回より出展しています。

「エコプロダクツ2007」に出展したキングジムブース

Webによる情報開示

■キングジムWebサイト内（http://www.kingjim.co.jp/）に環境への取組みを掲載しています。
■環境省Webサイト内（http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html）にキングジム環境マーク※1を紹介しています。
■東京商工会議所Webサイト内（http://www.eco-people.jp/）に「エコユニット※2」として登録、環境への取組みについて説明しています。

● キングジム環境マーク

製造ステップ
商品の主要な部材に「再生紙」、「再生PP」や「再生PE」などを利用することによって、省資源化をすすめます。商品の企画・設計から環境配慮を重要テーマと位置づけています。
ECOLOGY 再生紙　ECOLOGY 再生PP　ECOLOGY 再生PE　ECOLOGY 再生PS　ECOLOGY 非木材紙　ECOLOGY バイオマス資源

使用ステップ
古くなった商品も使用可能な部分を「再使用（リユース）」できる設計や、部材を交換することでいつまでも「長期使用（ロングライフ）」できる商品を開発しています。使用段階でのユーザーの「環境配慮」にお応えします。
ECOLOGY リユース　ECOLOGY ロングライフ

廃棄ステップ
商品を廃棄するときのことまで考慮に入れ、可燃・資源ゴミに簡単に分別できる「分別廃棄」仕様や使用済み商品の回収システムにより、ゴミの発生を抑制しています。
ECOLOGY 分別廃棄　ECOLOGY 回収・再資源化　ECOLOGY 回収・リユース　ECOLOGY 鉛フリーはんだ

詳細は26〜27ページ参照

情報活用の啓発

オープン・ファイリングシステム

一般的に、ファイリングシステムは“勉強をしてからでないと取り組めない”との先入観が強いため、特長をわかりやすく紹介する方法として、5分間弱のビデオによる「オープン・ファイリングシステム」の解説を当社ホームページ上で実施しています。
ホームページアドレス:http://www.kingjim.co.jp/ofs/

わかりやすくビデオでご紹介

トータル・ファイリングセミナーの実施

キングジムのファイリングシステムは、紙文書ファイルだけでなく電子文書ファイルの管理にも対応しています。その取組みの概要を一般のお客様にも知っていただくために「トータル・ファイリングセミナー」を無料で開催しています。

最近では、内部統制のための文書管理をテーマとしてファイリング研究室がセミナーを主催し、従来は東京本社地区のみで開催していましたが、2007年は大阪地区でも開催いたしました。紙文書の電子化を検討されている数多くのお客様に電子化のポイントをご紹介できるよう、全国主要都市での開催を計画しています。

自社会場でのセミナー風景

メディアを通じて情報活用のコツをPR

廣済堂出版の「BIZ STYLE」No.1（3月18日発売）では、特集「IT成熟時代の 新・整理術」のひとつのパート、「机まわりの書類整理」に当社ファイリング研究室の整理術が掲載されました。コンサルタント2名が実施、推奨している方法を、4ページにわたってわかりやすく紹介しています。

また、日本実業出版社の「ザッツ営業」夏季号とその次号の2回にわたり、営業職向けのファイリング・整理術を当社ファイリング研究室がご紹介しています。

BIZ STYLE（ビズ・スタイル）
NUMBER 01

企業活動のあらゆる面で環境への配慮を実践しています。

PEOPLE FILE... 03

物流本部　松戸ロジスティクスセンター

白井 誠

Makoto Shirai

物流部門で、商品出荷後に廃棄していた「荷崩れ防止用ラップ」を圧縮して、再生プラスチック原料としてリサイクル化しています。このように、各部門が身近な業務の中から、環境問題に取り組んでいます。

環境憲章の制定

私たちのかけがえのない地球の環境を守るために。

ファイルメーカーとして商品を供給する立場からキングジムは、「環境憲章※1」を制定し、社会の一員として責任ある取組みを行っています。

環境憲章

次世代のために、私たちは取り組みます。

For the next generation

環境理念

キングジムグループは商品を供給する立場から、資源の有効活用を積極的に行い、地球にやさしい商品の開発・生産につとめます。
キングジムグループは社会の責任ある一員として、自然との共生をめざし、地球環境の保全につとめます。

行動指針

キングジムグループは自然との調和を経営の重要課題としてとらえ、企業活動の全域で環境へのやさしさを優先して行動します。

- 開発・設計の段階から環境・安全性を考慮し、環境保全に適合した省資源・環境配慮製品の提供につとめる。
- 生産・販売・物流・廃棄などの各段階で、環境保全に貢献できる資材やシステムを積極的に取り入れる。
- 環境に関する法規制を遵守するとともに、自主管理規制を設定し環境管理の向上につとめる。
- 社内の環境教育を行い意識の向上をはかるとともに、環境保全活動を通して社会に貢献する。
- 環境管理の組織、運営制度を整備し、環境改善施策を実行し自主管理の維持向上につとめる。
- 環境に関する方針を必要に応じて開示し、環境保全につとめる。

環境推進体制

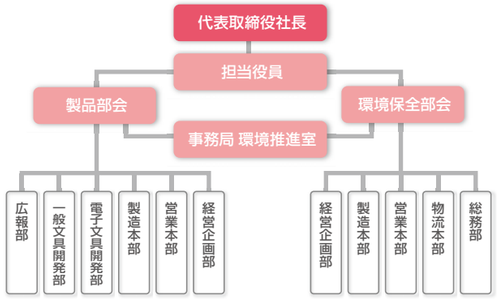
キングジムでは環境担当役員のもと、環境課題に積極的に取り組み、かつ迅速に対応するために、環境委員会（事務局 環境推進室）を開催しています。

環境問題はテーマが広範なため、

1. 製品部会
2. 環境保全部会

の2部会制にして、テーマ別に議論、検討を重ねています。また、社員から発案される環境改善提案の中から、実施可能な内容は環境保全活動として取り上げています。

● 環境推進体制



2008年度検討テーマ

- 製品部会：古紙偽装問題／製品環境基準見直し／容器包装リサイクル法／回収カートリッジ再資源化　等
- 環境保全部会：GHG※2進捗管理／従業員の環境教育／環境保全活動内容について　等

※1 環境憲章
キングジム環境憲章は、1998年1月に制定されました。

社内全部門に環境憲章を掲示し、意識付けを行っています。

※2 GHG
温室効果ガス。
20ページをご参照ください。

温暖化防止、廃棄物削減のために、様々な取組みを行っています。

温暖化防止

2008年度 実績

2008年度 GHG（温室効果ガス）排出量実績

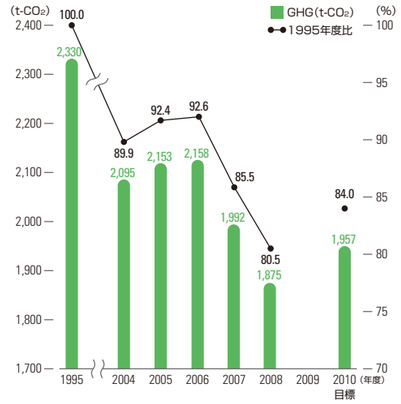
1,875.6t-CO_2

（1995年度比　80.5%）

2006年度より、「2010年度までに1995年比84.0%を達成する」という目標を掲げて取り組んでまいりました。

つくば工場における省エネルギー空調設備の導入や業務時間においての電力使用削減施策等、全社員による取組みの結果、2010年度より2年前倒しで目標達成する事ができました。

● GHG排出量推移



具体的施策

- ❶**室内温度管理の徹底** ―― 冷房時と暖房時における、室温管理
- ❷**照明管理の徹底** ―― 不要な照明の消灯や早朝時や残業時は、必要な箇所のみ点灯する
- ❸**OA機器管理の徹底** ―― 会議や昼食時における、離席時のパソコンのディスプレイはスイッチOFF
- ❹**アイドリングストップの徹底** ―― 営業車等の当社自動車は、駐停車時にアイドリングストップを実施する
- ❺**エレベーター使用における効率化** ―― 階段を利用して昇降出来る階数については、出来るだけ階段を利用する

「WARM BIZ」による省エネ活動

「チーム・マイナス6%※1」の参加企業として、2007年11月から2008年3月の期間、「WARM BIZ※2」（ウォーム・ビズ）に取り組みました。オフィスやエレベーター等、社員の目にとまる場所にポスターを掲示したり、社内LANを利用して「WARM BIZ」実践ポイントを発信する等、社員への啓発を兼ねた省エネ活動を実施しました。

エレベーター内に掲示されたポスター

ライトダウンキャンペーンへの参加

ライトダウン 前

ライトダウン 後

温暖化防止のため、環境省がライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼びかけている「CO_2削減/ライトダウンキャンペーン」に、キングジムも参加しました。夏至の日（2008年6月21日）と洞爺湖サミット初日（2008年7月7日）の夜8時～10時の2時間、当社関連施設の電気を一斉に消灯し、温暖化防止に協力しました。

「モーダルシフト」の推進

キングジムではモーダルシフト※3の推進として、九州地区への輸送については、トラックの他にCO_2排出量の少ない鉄道も併行利用しています。

2008年度からは、RORO船※4による海上輸送の利用も開始する等、物流面における環境負荷の低減にも取り組んでいます。

廃棄物対策

シリカゲル（乾燥剤）のリサイクル

厚型ファイル用とじ具の殆どは、海外工場にて生産されています。これらのとじ具は、主要部材が金属で構成されており、輸入される際は品質維持のためにシリカゲル（乾燥剤）が同梱されています。

1年間に9t前後発生するシリカゲル廃棄物は溶融固化後、路盤材または精錬原料へとリサイクルされています。

使用済みシリカゲル

接着剤洗い水のリサイクル

厚型ファイル表紙を製造するために、接着剤を使用します。毎日の製造終了後には、接着剤を洗い流した排水が大量に発生します。この排水はリサイクルが困難なために、今までは埋立て処理せざるを得ませんでしたが、脱水 → 焼却後にセメント原料として使用できるルートが確立されたため、現在ではこの処理ルートにてリサイクルを行っています。

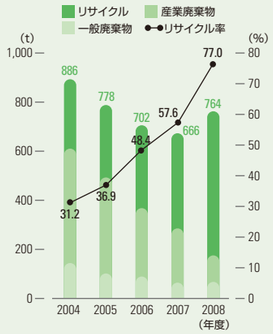
端材のリサイクル

厚型ファイルには、とじ具を装着し、かつ固定するための穴が開いています。この穴は、紙材とプラスチック材を貼り合わせた後の製造工程にて、一冊ずつ打ち抜かれていきます。

この工程から発生する端材は複合材のため、この状態でのリサイクルは不可能ですが、固形燃料（RPF※5）の原料としてリサイクルされることで、廃棄物削減に大いに貢献しています。

製造工程にて発生した端材

□ **廃棄物推移**



算出範囲:キングジム本社、国内工場および物流センター

※1 チーム・マイナス6%
政府が進める地球温暖化防止のための国民運動。京都議定書による、温室効果ガス6%削減約束を達成することを目標としている。クール・ビズやウォーム・ビズもその一環。

※2 WARM BIZ
地球温暖化を防止するための環境省の提案。
"寒い時は着る""過度に暖房機器に頼らない"そんな原点に立ち返り、暖房に頼り過ぎず、働きやすく暖かく格好良いビジネススタイル。

※3 モーダルシフト
輸送手段をトラックから環境負荷の低い大量輸送機関である鉄道または海運へ転換し、トラックとの複合一貫輸送を推進すること。

※4 RORO船
Roll on Roll off Ship（ロールオンロールオフ船）の略。
「乗り込んで、降りる」と言う意味を持ち、船の中にトレーラーが自走してコンテナを搬入できる構造の船舶の事。
クレーンを使わずに直接、貨物の積み降ろしができ、貨物の大量輸送や荷役作業の効率化が図れる。

※5 RPF
Refuse Paper & Plastic Fuelの略。マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料。

現状を把握し、環境負荷低減を推進　　します。

マテリアルフロー

キングジムでは、事業活動についてのマテリアルバランスを整理し、把握しています。事業活動の全体を捉える事が、環境配慮商品の開発や地球温暖化防止の推進に重要となります。環境負荷の低減に繋げるために、今後も継続して把握や分析を行っていきます。

● 2008年度 マテリアルバランス

INPUT

原材料					
金属材料	3,645t	容器包装	40t	電力	802万kWh
プラスチック材料	4,029t	その他	208t	用紙	18t
紙材料	8,905t	完成品	2,972t	燃料	3,835GJ
段ボール	1,871t				

RECYCLE 回収量 60t → キングジムグループ

OUTPUT

廃棄物総量		温室効果ガス	輸送		総販売量
一般廃棄物	104t	3,302t-CO_2	使用燃料	18,479GJ	21,756t
産業廃棄物	113t		総輸送重量	37,311t	
リサイクル量	1,437t		総輸送距離	170万km	

化学物質管理

PRTR法※1指定化学物質のうち、キングジムで使用している物質は、トルエンとキシレンの2化学物質です。これは、厚型ファイルの製造工程にて使用する接着剤の成分として含有しているものです。過去より、各工場とも年間取扱量が1tに満たないため、届出の対象には至っておりません。国内での使用量は、昨年に引き続き削減する事ができました。今後は、トルエン、キシレンを含まない無溶剤タイプの研究を進めていきます。

● トルエン

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
つくば工場	640.4	693.0	704.0	680.9	655.6
松戸工場	71.0	90.0	77.0	65.3	67.4
Total	711.4	783.0	781.0	746.2	723.0

● キシレン

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
つくば工場	637.8	698.1	706.1	686.2	661.5
松戸工場	71.0	51.3	54.6	54.1	56.2
Total	708.8	749.4	760.7	740.3	717.7

単位:kg　算出期間:PRTR法に基づき、毎年4月～翌年3月

また、最近では、RoHS指令※2に代表される様に、化学物質情報開示の要求が増えています。お問合せに対して、的確な回答ができる様、化学物質データの蓄積および管理も行っています。

※1 PRTR法
Pollutant Release and Transfer Registerの略。特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律。

※2 RoHS指令
Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipmentの略。電機電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令。

環境マネジメントシステム

つくば工場では、1999年3月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得しました。日々の業務において継続的改善が求められる中、目標を達成するためにあらゆる施策に取り組みながら、環境負荷低減にむけて努力しています。

つくば工場 2008年度 環境保全活動

❶ 電力の削減　❷ CO_2(二酸化炭素)の削減　❸ 新しいコピー用紙の使用量抑制
❹ 産業廃棄物(廃プラ)の削減　❺ 地域との共生　❻ 環境教育の実施
❼ 環境に配慮した製品への働きかけ　❽ 安全で働き甲斐のある職場環境の確保

ISO14001 認証取得

●認証取得概要
事業者名…株式会社キングジムつくば工場
所在地…茨城県牛久市桂町2200番地1
登録範囲…パイプ式ファイルの製造
登録日…1999年3月31日
登録番号…JQA-EM0396

ISO14001認証取得 JQA-EM0396 つくば工場

環境教育

企業の環境負荷低減のためには、従業員の意識や知識の向上が重要です。毎年4月には、新人研修プログラムの一環として、新入社員向け環境教育を実施し、企業と環境との係わり等を学んでいます。また、自己啓発の一環として、「環境社会検定試験(eco検定)」(東京商工会議所主催)を受験し、複数名が合格しました。今後は、一人でも多くの社員が地球環境問題への理解および環境知識の幅を広げる事ができるよう、意識改革につなげてまいります。

新入社員への環境教育

環境会計※3

2007年度と比較して大きな変化があった分類項目は、①の資源循環コストです。これは、工場から排出される産業廃棄物に対して、リサイクルルートの開拓を推進した結果、リサイクル費用は増加しましたが、その分、産業廃棄物費用を大幅に削減する事ができました。また分別の徹底により、今まで廃棄物だったものが有価物として扱われ、売却益も計上しました。

● 環境保全コスト(2008年度)

分類	主な取組みの内容	費用額(千円)
①事業エリア内コスト／資源循環コスト	●廃棄物処理 ●リサイクル 等	14,766
②上･下流コスト	●カートリッジ回収 ●容器包装リサイクル法 再商品化委託料金	20,996
③管理活動コスト	●ISO14001維持 ●従業員教育 ●カタログ制作、展示会出展 等	41,672
④研究開発コスト	●開発試作 ●設備 等	61,693
⑤社会活動コスト	●環境保全団体への寄付 等	400
合　計		139,526

※3 環境会計
事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的(貨幣単位または物量単位)に測定し伝達する仕組み。

環境問題への取組み

キングジムでは、環境対策に関する理念・方針・行動指針を明確にし、課題に対して積極的に行動しています。1991年<エコロジープロジェクト>の発足以降、現在に至るまで、環境問題に対して的確かつ迅速な対応を念頭に、製品への環境配慮化や社会の一員としての環境保全活動に取り組んでまいりました。今後も全社を挙げて、より一層の努力をしてまいります。

キングファイル
スーパードッチ<脱・着>

[1998年]
・キングジム「環境憲章」制定
・再使用を考慮した
「キングファイル スーパードッチ<脱・着>」発売
・環境推進室 設置

キングファイル
スーパードッチ

[1996年]
・グリーン購入ネットワーク(GPN)の
会員になる
・分別廃棄可能な
「キングファイル スーパードッチ」発売

[1999年]
・つくば工場にて「ISO14001」認証取得
・WWFジャパンに協賛し、活動を支援

[2000年]
・「テプラ」PROテープカートリッジが
エコマーク認定商品となる

「テプラ」PROテープ
カートリッジ

[1993年]
・WWFジャパン
[(財)世界自然保護基金ジャパン]の
法人会員となる

[1992年]
・日本野鳥の会へ協賛支援を実施

[1991年]
・エコロジー
プロジェクト発足

1990年代

91年 92年 93年 96年 98年 99年 00年

2000年代

01年 02年 03年 04年 05年 06年 07年 08年

[2001年]
・「テプラ」PROシリーズに鉛フリーはんだを順次導入
・日本野鳥の会の法人会員となる
・再生PPを使用した「再生透明ポケット」発売
・廃ガス管から生まれた
「キングファイル リサイクルPE」発売

キングファイル
リサイクルPE

鉛フリーはんだ

[2002年]
・非木材紙を採用した
「図面ファイルGB」発売

図面ファイルGB

[2003年]
・再生PPを使用した
「クリアーホルダーリサイクル」発売

[2004年]
・生分解プラスチックを使用した
「生分解ファイル」発売

生分解ファイル

[2005年]
・クロムフリーの
「キングファイル エコロジードッチ」発売
・GHG排出削減目標設定

キングファイル
エコロジードッチ

[2006年]
・違法伐採問題に関する行動指針制定

[2007年]
・社内提案制度において、「環境」を
テーマとした提案募集を開始

[2008年]
・分別廃棄をしやすくした
「キングファイル スーパードッチ
<脱・着>イージー」発売

商品のライフステージごとに、環境負荷低減への配慮があります。

環境配慮設計

「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3R＋オルタナティブテクノロジー（代替技術）

「資源採取」から始まり、「製造」「流通」「使用」「廃棄・リサイクル」に至るまで、環境負荷は商品のどのライフステージにおいても発生します。キングジムでは材料の選定や製造方法の検討、使いやすさや使い終わってからを考慮しながら製品仕様を決定しています。その中で重要なのが「REDUCE（発生の抑制）・REUSE（再使用）・RECYCLE（再資源活用・再資源化）」の3R。この3つの視点を中心に、環境負荷を可能な限り軽減した製品の開発に取り組んでいます。また、従来の素材に替わり、環境負荷が少なく、有害物質を含まない材料の研究や開発等、代替技術の応用および普及も目指しています。この取組みについて、更にわかりやすくするために、キングジム独自の環境マークを制定しています。環境マークは、カタログ等において製品のどの部分が環境配慮されているか、を詳しく紹介したマークです。

● 製造ステップ

商品の主要部材に再生材や環境に配慮した素材を使用することによって、資源の有効利用を進めます。商品の企画・設計段階から環境配慮を重要テーマと位置づけています。

ECOLOGY 再生紙

限りある森林資源の有効利用を考えて、表紙芯材や背見出し紙に再生紙を使用しています。

キングファイル スーパードッチ

ECOLOGY 再生PP

表紙やポケットに再生PP（ポリプロピレン）を使用しています。

クリアーファイル リサイクル

ECOLOGY 非木材紙

森林保護、育成の観点から、非木材資源である「バガス」を使用した商品です。

図面ファイルGB

ECOLOGY バイオマス資源

表紙にバイオマス由来プラスチックを使用しています。化石資源の保護や地球温暖化の防止を促進します。

生分解ファイル

ECOLOGY 再生PS　ECOLOGY 再生PE

プラスチック材料では、再生PP以外にも、PS（ポリスチレン）、PE（ポリエチレン）等の再生素材を使用して、資源の有効利用に取り組んでいます。

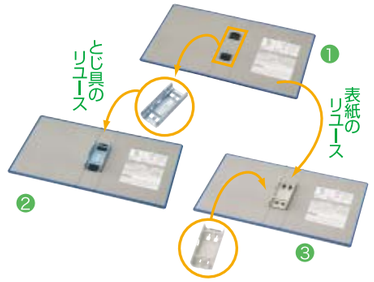
名刺整理箱

● 使用ステップ

古くなった商品でも使用可能な部品をリユースしたり、部品を交換することにより長期使用が可能になるように、商品開発をしています。

ECOLOGY リユース

「捨てる」から「再使用」へ。
表紙やとじ具を再使用する事でゴミの削減に繋がります。



●キングファイル スーパードッチ<脱・着>Nのリユース

使用段階で簡単に部品を交換することができ、再使用が可能な環境配慮設計を行っています。

❶古くなった表紙からとじ具を外します。
❷取り外したとじ具を「替え表紙」（別売）に取り付けて「再生キングファイル スーパードッチ<脱・着>N」として使用できます。
❸古くなった表紙に「保存とじ具」（別売）を取り付けて、「再生保存ファイル」として書類保存用にご使用いただけます。

ECOLOGY ロングライフ

限りある資源を大切にするために、耐久性のある表紙や背見出し紙の交換などで長期使用が可能になります。

● 廃棄ステップ

商品を廃棄する時のことまで考慮に入れて、分別可能な仕様や有害物質を含まない材料の選定を行っています。また、「テプラ」においては、使用済みテープカートリッジの回収システムを構築しています。

ECOLOGY 分別廃棄

表紙ととじ具を簡単に取り外すことができる構造です。廃棄時には、素材ごとのゴミ分別が可能です。

キングファイル スーパードッチ

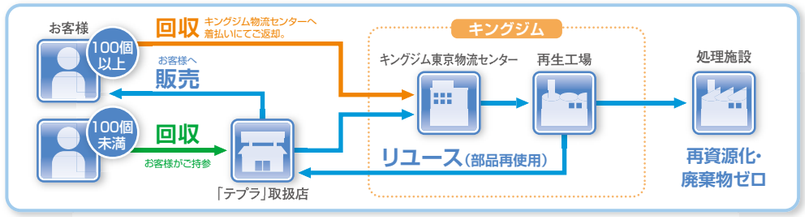
ECOLOGY 鉛フリーはんだ

「テプラ」の実装部品に使用するはんだについて、鉛を含まない材料に切り替えています。

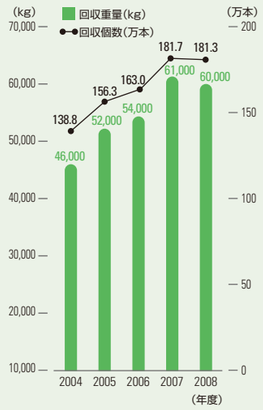
ECOLOGY 回収・再資源化　ECOLOGY 回収・リユース

使用済み商品を回収して、
資源の再使用やゴミの減量化を行います。

● 「テプラ」使用済みテープカートリッジ回収フロー



□ テープカートリッジ回収実績



従業員の尊重

従業員の「働く環境」を大切に考えています。

REPORT

工場見学&ものづくり体験

学校の夏休み期間を利用して、希望する従業員の子供たちを対象に、工場見学と実際に「キングファイル」の手作りによる「ものづくり体験」を実施しました。「家族に会社を見てもらう」ことで、家庭内でのコミュニケーションや職場理解に繋がることを期待しています。

人材の登用と活用

● 従業員の状況/従業員数

年度		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
キングジム	男性	431名	424名	421名	417名	409名
	女性	144名	139名	136名	125名	119名
グループ全体		1,034名	1,092名	1,091名	1,082名	1,177名

チャレンジ意欲の向上

従業員のチャレンジ意欲の向上と企業風土の活性化の一環として、新たに「キャリアチャレンジ制度」と「社内ベンチャー制度」を導入しました。キャリアチャレンジ制度は、公募を希望する部門が求人情報を社内に公開し、能力や意欲のある従業員を社内から広く募集する制度です。従業員は職場の上司を経由せず、直接人事部に応募し、応募の秘密は厳守されます。対象者は、社員だけでなく、契約社員・パートタイマーも応募できるよう幅広く募集しています。また、社内ベンチャー制度は、企業ドメインの範囲内で新規事業開発にチャレンジし、起業を目指す制度で、広く全社より募集を行っています。今後もこの制度を継続して推進するとともに、従業員のチャレンジ意欲の向上と活性化への人事施策を推進していきます。

キャリアチャレンジ制度の求人情報は社内LANで公開されます。

定年再雇用制度

改正高年齢者雇用安定法の施行に対応し、キングジムでは満60歳の定年退職の歳に、再雇用を希望する従業員は、最長65歳まで勤務を続けられる再雇用制度を整備しています。これまでの豊富な経験と技能を持っている従業員に活躍の場を提供しています。

障がい者雇用

キングジムは、障がい者の雇用に継続的に取り組んでおり、2008年度の障がい者の雇用率は1.89%となりました。法定雇用率である1.80%や全民間企業の平均雇用率を上回る雇用率を維持しています。キングジムは、障がいの有無にかかわらず活躍の場を広げ、能力を発揮できる会社を目指しています。

● 障がい者雇用率

年度	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
法定雇用率	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%
当社雇用率	1.60%	1.82%	1.82%	1.87%	1.89%
民間企業実雇用率	1.46%	1.49%	1.52%	1.55%	—

※民間企業実雇用率:厚生労働省

□ 障がい者雇用率

□ column 社内ブログ

キングジムでは、2007年の夏から社内コミュニケーションの活性化を目的とした「キングジム社内ブログ」を開設しました。社長ブログをはじめ、各部門のグループブログや、当社に関する最新情報など、社内間で多岐にわたる話題が提供できます。また、社員個人でブログを作成することも可能で、日常業務の内容にとどまらず、プライベートの情報も発信することで、部門を越えたコミュニケーションが活性化しています。

社長ブログ

従業員の能力発揮を支えています。

従業員のエンプロイアビリティ

能力開発制度

キングジムの能力開発制度は、自立型の人材育成を目標とする研修プログラムを実施しています。今年度の研修プログラムは、「基礎研修」と「経営人材養成研修」で構成されています。「基礎研修」は、主に課長を対象とする「コーチングマネージメント研修」と若手育成のための「問題形成・解決研修」を実施しました。また、次世代の経営人材を養成するための「経営人材養成研修」を実施する予定で、今後も、経営目標の達成に向けた課題を実現するため、人材づくりの能力開発を推進します。また、自発的な能力開発への取組みに対して会社がバックアップする自己啓発援助制度があり、自らのスキルアップのために利用することができます。

コーチングマネージメント研修

人権への配慮

セクハラ相談窓口

セクシュアルハラスメント相談窓口には、女性と男性の相談員を配置しています。相談員は、相談マニュアルに従い、相談者のプライバシーや意向を尊重し、必要な措置を講じます。セクハラ防止への対応は、「セクシュアルハラスメントの防止に関する細則」に社内規程として明確に定められている他、従業員就業規則やコンプライアンスプログラムにも定められており、セクハラの防止を推進しています。

働きやすい職場環境の実現

従業員意識調査・自己申告制度

キングジムでは、従業員の考えを的確に把握し、組織・風土や人事制度の改善施策、権限と責任の見直し、経営諸課題に対する施策などの中期的な人事戦略の展開のために、従業員意識調査を実施しています。従業員の意識や満足度など定性的なものを定量化することや全社の課題を明確にするため、調査は今後も定期的に実施する予定です。

また、多くの従業員の意見を聴くために自己申告制度を実施しています。自己申告書は、従業員の率直な意見を社長、管理本部長、人事部担当役員が聴くための制度です。対象者は、キングジムおよび国内のキングジムグループ会社内の全員とし、社員のみならず嘱託社員、パートタイマーおよび派遣社員からも意見を聴いています。

安全衛生

キングジムグループでは、従業員の労働災害の撲滅を目指し、健康を守るため全社安全衛生委員会を設置し、安全衛生管理の活動を推進しています。今後も安全衛生体制を整備するとともに、健康管理については、従業員が自主的に健康づくりに取り組めるよう推進いたします。

いきいきと働ける職場づくり

社員の多様性推進

キングジムでは、性別、年齢、人種、国籍、宗教、障がいなどにとらわれず、多様な価値観を尊重し、一人ひとりが活躍する場を与え、働きがいを持ってその能力を発揮できるような取組みに注力しています。人事制度におけるグループ転換では、男女にかかわらず意志と意欲のある従業員は、審査を経てグループ転換を実施し活躍する機会が拡大しています。また、新入社員の採用においては、男女の割合をできるだけ同率とするよう努め、男女差がない採用活動を行っています。今後も、企業風土の活性化を推進し、多様な価値観を尊重する企業風土の醸成を行っていきます。

グループ転換した社員のコメント

電子文具開発部　**今田 ひろみ**

私は事務職で入社しましたが、5年目頃からは企画的な仕事への希望が強くなり、グループ転換で開発部員への転換を検討しました。不安もありすぐには決断できませんでしたが、周囲の後押しもあって昨年総合職に転換、現在は開発部員として「テプラ」新機種の開発を担当しています。試行錯誤の連続でしたが、現在は自分の企画する商品が店頭に並ぶことを楽しみに業務に励んでいます。新しい仕事にも挑戦でき、転換してよかったと思っています。

育児支援・介護支援の充実

キングジムでは、仕事と家庭を両立できる職場づくりを目指して、育児支援・介護支援制度を導入しています。これまでに育児休業を取得し復職した従業員の意見を参考にして、育児休業の期間を、最長で子が満1歳に到達した後の4月15日まで延長するとともに、保育園等へ子を送迎する時間を確保するための短時間勤務制度を新設するなど、いきいきと安心して働ける職場づくりを目指しています。

● 育児支援・介護支援制度

制度	内容
産前産後休暇	産前6週間、産後8週間（多胎妊娠の場合は、産前14週間、産後8週間）
特別休暇	配偶者の出産のための特別休暇（4日間）
子の看護休暇	就学前の子の負傷・疾病による看護のための休暇 年間5日まで
育児休業	出産後、子が満1歳に達する日まで育児のための休業 ただし、最長1年6ヶ月まで、または、満1歳に到達した後の4月15日まで延長が可能
介護休業	要介護家族1名につき通算93日までの休業
育児短時間勤務	1日の労働時間を1.5時間短縮可能
介護短時間勤務	1日の労働時間を2時間短縮可能

育児休業後復職した社員のコメント

国際部　**河村 あずさ**

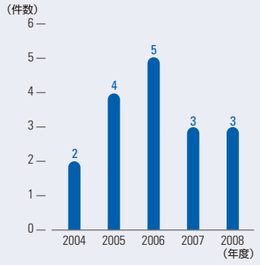
娘の保育園入園が決まりましたが、通常の就業時間では迎えに間に合いません。新設された育児短時間勤務制度を利用することで、保育園への迎えも間に合い、仕事と育児の両立ができています。現在は短時間勤務のため上司や同僚に負担をかけていますが、いつかは自分が負担を引き受ける側にまわりたいと思います。

コーチング マネージメント研修 受講者の声

- 部下に考えさせることと、考える力を身に付けてもらう重要性を改めて感じた
- 「叱る」ことについて、今まで多少の遠慮があったが背中を押された感じがした
- 管理職向けの研修も必要だが、部下力をアップさせる研修も多く実施してほしい
- 今後、プロジェクトマネージャーを育成強化する研修を実施してもらいたい

受講後の社員の声として、改善点を含め様々な意見が寄せられました。このような社員の意見を今後の能力開発、研修の設計・計画に活かしていきます。

休業に至る労働災害発生件数



※国内子会社・海外子会社を含む

配偶者の出産のための特別休暇取得率

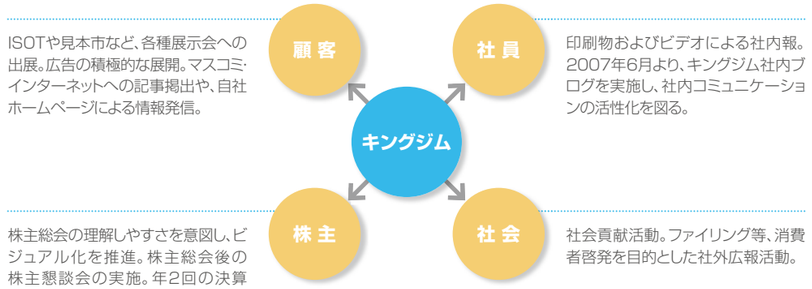
育児休業取得率（女性）

※国内子会社を含む

迅速、正確で平等な情報開示を行って　います。

ステークホルダーとのコミュニケーション

顧客·社員·株主·社会へのコミュニケーションを次のように実施しています。



顧客：ISOTや見本市など、各種展示会への出展。広告の積極的な展開。マスコミ·インターネットへの記事掲出や、自社ホームページによる情報発信。

社員：印刷物およびビデオによる社内報。2007年6月より、キングジム社内ブログを実施し、社内コミュニケーションの活性化を図る。

株主：株主総会の理解しやすさを意図し、ビジュアル化を推進。株主総会後の株主懇談会の実施。年2回の決算説明会。

社会：社会貢献活動。ファイリング等、消費者啓発を目的とした社外広報活動。

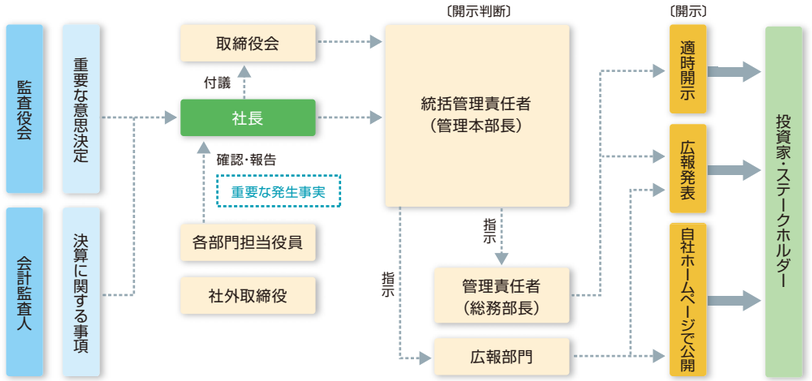
広報活動

対外広報活動として、新商品の情報·企業情報など、年間83件のニュースリリース（経営情報の適時開示文書を含む）を発行しています（2007年7月～2008年6月）。発表の方法と時期については、日本証券業協会「事業情報開示の手引き」に則り、適正·公正に行っています。

虚偽の情報が伝わらないよう、発行リリースはもちろん、取材をお受けする際にも誤解のないよう、慎重を期しています。また、マイナス情報に関しても、事実の伝達を優先し、虚飾情報を排することで、マスコミ記者から信頼される関係を構築する努力を続けています。

IR活動

IR関連情報の開示は、東京証券取引所の「上場関連規則」および「会社情報適時開示ガイドブック」に従い、さらに、経営判断により積極的な開示に努めています。また、年に2回の「決算説明会」により、証券アナリストや経済記者への、決算および会社方針説明を行っています。



株主総会

年1回の定時株主総会においては、内容の理解しやすさを意図して、ビジュアル化を推進。活発な意見交換の行われる「開かれた総会」を目指した運営を行っています。

閉会後の「懇談会」で役員と気軽に対話していただくなど、コミュニケーションの強化に努めています。

株主総会

懇談会の様子

決算説明会

年2回の「決算説明会」は、直近におきましては、2007年8月30日に「期末」、2008年2月27日に「中間期」の説明会を実施。代表取締役社長による決算内容や経営課題についてのご説明を行い、証券アナリスト、経済記者などご出席の皆様に、弊社経営に対するご理解を深めていただいております。

それぞれの出席者は2007年8月が31名、2008年2月が27名でした。

決算説明会

個人投資家向け会社説明会

2008年より、個人投資家の当社への興味、ご理解を深めていただくために、個人投資家向け会社説明会に参加し、代表取締役社長より、経営の現状と課題についてご説明させていただきました。

2008年5月31日には、大和インベスター·リレーションズ（株）の主催による、また、同年7月13日には、三菱UFJ証券の主催による説明会に参加しています。

個人投資家向け会社説明会

次世代の育成やダイバーシティの実現　　に取り組んでいます。

点字体験授業

キングジムでは、2007年より自社製品である点字「テプラ」を活用した、点字体験授業を通して、「福祉教育」をサポートする取組みを行っています。小学校での点字学習は教科書に組み込まれ、実際に街で点字表記を探したり目隠しをして盲導犬と歩行したりするなどの授業が数多く展開されています。

2008年6月に東京都武蔵野市立井之頭小学校の5年生を対象とした、点字体験授業を実施しました。点字の由来や点字表記の仕組みの説明後、実際に点字「テプラ」を使用して点字と印刷文字入りのラベルを作成しました。当社からは、点字「テプラ」の開発担当者を含む社員が立会い、子どもたちと一緒に視覚障がい者が必要とする点字表記を考えるなど、参加型の授業になりました。

出張授業により、子どもたちが点字を学ぶ上で、点字初心者でも簡単に点字翻訳できる点字「テプラ」を活用し、点字をより身近に感じてもらうことをねらいとしています。また、点字に触れることで、子どもたちに点字について意識を向けてもらい、視覚障がい者を含む体の不自由な人々の気持ちを想像し、理解を深められる機会になってほしいと考えています。

□ 点字「テプラ」とは

「テプラ」PRO SR6700Dは、点字の知識がない方でも、「自動点字機能」によってワープロ入力をするように、簡単に点字ラベルを作成することができます。

また、印刷文字と点字の両方を1枚のラベルで表示することができるため、貼る場所を間違えたり、上下逆さまに貼ってしまうミスを事前に防ぐことが可能です。点字ラベルに印刷文字を同時に表示すれば、健常者も点字表示の存在に注目し、目の不自由な方と健常者ともに分け隔てなく活用することができます。

点字「テプラ」は、2005年5月に発売し、同年に日経優秀製品・サービス賞を受賞しました。現在も調剤薬局やホテル、百貨店など幅広い場所でご活用いただいています。

点字「テプラ」SR6700D

インターンシップ

2003年以降、大学生の夏休み期間を利用して、企業の実務を学生の方が実際に体験することで職業観や就業意識を高め実際の就職活動に役立てることを目的とした、インターンシップを継続的に受け入れています。2008年度も、例年通り8月20日から2週間にわたり、4名の大学生の方にそれぞれ営業推進部·人事部·広報部に分かれて就業体験をしていただきました。

営業推進部ではアンケート集計やカタログ作成などの他、営業マンに同行し実際に取引先を訪問するなど実践的な体験をしていただきました。また、人事部では子育て支援策などの調査·企画、広報部では決算説明会の準備や展示会での取材·撮影などを担当していただきました。更に今回は、全員の方に営業マンとの同行を体験していただき、参加した学生の方からは、想像以上に具体的な業務体験でより充実したものになったとの感想も聞かれました。研修期間中は、若手社員との座談会を開き、社内ブログにインターンシップブログを開設し学生の方が実際に体験した感想などを投稿していただくなど、当社社員との交流も図りました。当社では、今後もインターンシップの受け入れを積極的に推進していきます。

2008年度インターンシップ
参加の皆さん

教育·スポーツ支援

教育支援活動として、2008年で60回目を迎える高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に、協賛企業として2004年より継続的に支援を続けております。この弁論大会は、「国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与すること」を目的として始まり、現在もその精神が受け継がれています。当社としてもその趣旨に賛同し、支援を続けております。また、2007年7月、近隣の都立高等学校の生徒の方々の会社見学を受け入れています。これは、前年に引き続き授業の一環として「学校近隣の職業理解」に協力したものです。

スポーツ支援活動の一環としては、2002年より全日本テニス選手権大会に協賛を続けております。

全日本テニス選手権大会の協賛

国際社会とともに

1990年代後半よりさまざまな海外サプライヤーとの協働による生産拠点の拡大をする中で、昨年7月に操業開始10周年を迎えたP.T.KING JIM INDONESIA(インドネシア·東ジャワ州)をはじめとして、マレーシア·ケダ州、ベトナム·ビンズン省に海外生産子会社を設立してきました。また、販売拠点として上海に販売子会社を設立するなど、以前とは比較にならないほど国際社会とのかかわりが大きくなってきています。そのため、国際社会と協調していくことに努めることを何よりも重要と考え、コンプライアンスプログラムで現地の文化や慣習を尊重することを明記する他、キングジム本社人事部にて海外子会社の就業規則制定の際には現地法令だけでなく国際的規範にかなうものかどうかチェックしています。

KING JIM(MALAYSIA)SDN.BHD.では、2006年から継続して現地の身体障がい者支援グループへ生産の一部を委託するという形で、身体障がい者の職業訓練支援活動に積極的に協力させていただいています。また、P.T.KING JIM INDONESIAでは、毎年現地大学生の実地研修を受け入れています。

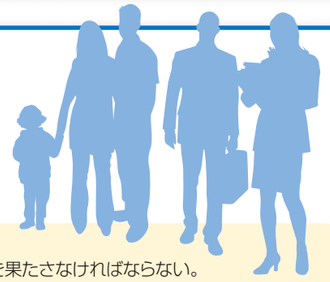
KING JIM(VIETNAM)Co.,Ltd.

経営理念

**独創的な商品を開発し、
新たな文化の創造をもって社会に貢献する**

行動指針

**見つめよう市場
見なおそう慣行
見つけよう新発想**



顧客に対して

商品およびサービスは、十分な顧客満足を果たさなければならない。
新商品開発は、市場開拓型の独創的な企画を追求しなければならない。
その品質は顧客の求める水準に維持され、かつ適正な価格でなければならない。

社員に対して

社員の個性を尊重した能力開発とともに、自由闊達な提案や意見具申ができるなど、能力を生かせる職場環境を保たなければならない。
待遇は能力と実績に応じ、公正かつ適正なものでなければならない。

株主に対して

常に顧客の信頼と理解を得られるよう、情報を積極的に開示しなければならない。
企業価値の増大と株主への利益還元に努めなければならない。
コーポレートガバナンスを強化し、公正かつ透明性の高い経営を
行わなければならない。

社会に対して

商品は、文化の向上に貢献できるものでなければならない。
社内のコンプライアンス体制を整備し、
社会の一員としての意識とモラルを持たなければならない。
商品と企業活動を通して、常に環境と資源の保護に努めなければならない。

経営理念の浸透

2003年1月に改定された経営理念と行動指針は、すぐに各事業所に掲示されましたが、それに続いて2003年2月には正社員·パート社員(短期を除く)·国内子会社社員に対して経営理念·行動指針が印刷された携帯用カードを配布いたしました。それ以後入社した社員全員にも同様に配布しています。

コーポレート·ガバナンスに関する基本的な考え方

キングジムのコーポレート·ガバナンスは、情報開示と透明性を最も重要視し、公正かつ透明性の高い健全な経営により、継続的な企業価値の向上をはかることを取組みの基本的な考えにしております。

- 株主総会開催前にホームページにより招集通知·事業報告書の開示を行う他、株主総会終了後に株主懇談会を開催して、各役員と株主が直接対話し、コミュニケーションの充実をはかっております。
- キングジムは広くステークホルダーに対する迅速な情報開示を行い、透明性をはかるよう努めております。適時開示のガイドラインにとどまらず、任意の開示事項を含め積極的に開示を行うとともに、内容の充実にも努めております。主に、マスコミやホームページなどにより情報開示を行っております。
- 財政状況·経営成績のみならず、多くの会社情報が得られ、判断できる状態にするため、社内体制を整備することで、一層の透明性を促進しております。
- 株式政策として、配当面においては連結配当性向30%を基準にして株主への利益還元を実施しており、また、自社株式の取得などを機動的に実施し、株式価値を向上させております。
- 株式分割や1単元の株式の引き下げ(1,000株から100株に)等を実施し、流動性の向上に努めております。

株主通信

ホームページのIR情報

内部統制

2006年5月1日に施行された会社法に基づき、同年5月17日開催の取締役会において内部統制の基本方針を決議いたしました。キングジムは、内部統制の構築と運用は、企業が業務を適正かつ効率的に行うために極めて重要な体制およびプロセスであると考え、基本方針に則り、内部統制の整備·強化を進めております。

また、関連会社を含めたキングジムグループとして、財務報告に係る信頼性確保を企業経営の重要課題として位置づけ、金融商品取引法に基づく「日本版SOX法」への対応のため、2006年11月21日より社長を委員長とした特別プロジェクトチームを社内に設置し、推進しております。具体的には、日本版SOX法対応推進チームと日本版SOX法対応実施チームをそれぞれ編成して、有効な内部統制環境を整備し、現在、目的を達成するための運用手続きの構築を進めております。

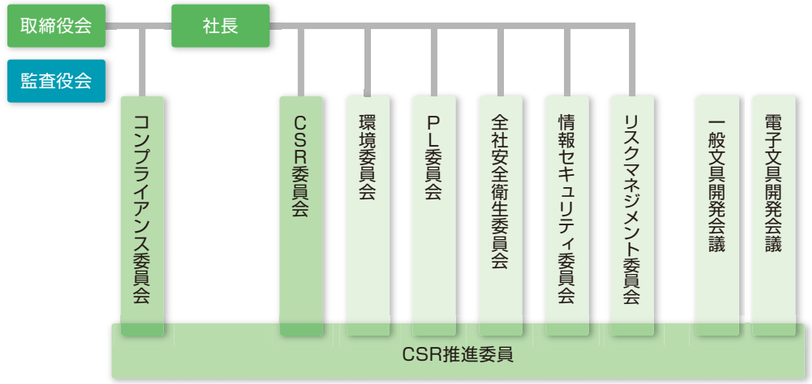
従業員一人ひとりが意識を持って、CSR　　を推進しています。

CSR委員会

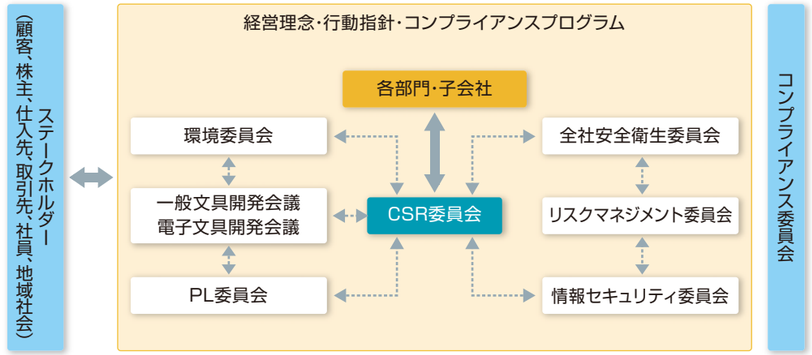
CSRマネジメント体制の確立

キングジムでは、近年のCSR（企業の社会的責任）への関心の高まりを機に、CSRマネジメント体制を構築すべく2006年8月に「CSR委員会」を発足させました。それまでも、行動指針で各ステークホルダー（顧客、社員、社会、株主）に対して果たすべき役割を明確にするなど、CSRという言葉は使わなくともCSR的活動を続けてまいりましたが、委員会を発足させることで、より明確にCSR活動を意識するようになりました。CSR委員会は、経営企画部長を委員長とし、コンプライアンス委員会・環境委員会などの各種専門委員会や開発本部、お客様との接点となる広報部やCS部のメンバーからなり、特定部門に偏らない組織体制となっております。活動としては、年6回定期的に会合を開き、さまざまなCSR諸課題に対する活動状況をチェックする他、具体的な活動テーマ提案を絶えず行っております。活動自体はまだ始まったばかりですが、このような活動を通じて社会からの信頼を更に向上させ、企業価値や各ステークホルダー満足度の向上・さまざまな経営リスクの軽減などに結び付けていきたいと考えております。

● CSR推進組織



● CSR委員会と各専門委員会との連携



コンプライアンス体制の確立

キングジムは、経営理念、行動指針、ならびに最上位規程として位置づけられたコンプライアンスプログラムにより、役員および従業員が自らを律し、法令遵守はもとより、企業倫理の実践に努めています。また、コンプライアンス統括責任者である管理本部長をトップとし、常務以上の取締役と顧問弁護士で構成されるコンプライアンス委員会を設置しています。万一、コンプライアンス上疑義ある行為が行われ、また行われようとすることに気付いた者は、内部通報に関する窓口として設置されたスピークアウト制度により、社外の顧問弁護士に通報することができる体制となっています。通報者の正当な行為は、従業員就業規則によって保護され、人事上不利益な取扱を受けません。

新入社員に対するコンプライアンス研修の他、昨年は、営業関係の課長職以上を対象にコンプライアンス講習会を開催しました。コンプライアンス遵守の精神を醸成する体制を構築しております。

コンプライアンスプログラム

私たちキングジムグループのすべての企業行動は、コンプライアンスに根付いたものでなければならない。

- 私たちキングジムグループの一員は、企業倫理や法律に反した行動をとりません。万一、企業倫理や法律に反する行為、または疑わしい行動を知った場合は、コンプライアンスの体制に則って、適切な対応をとります。
- 私たちキングジムグループの一員は、合法的でかつ清廉な行動をとります。
- 私たちキングジムグループの一員は、コンプライアンスの精神に反する不当な利益追求を行いません。

〈コンプライアンスの指針〉

●環境の保全
私たちキングジムグループの一員は、環境配慮活動に積極的に取り組み、地球規模での環境負荷の軽減に努めます。

●贈収賄などの禁止
私たちキングジムグループの一員は、社外とのクリーンな関係を保ちつづけ、贈収賄など、キングジムブランドを汚す行為は行いません。

●良好な国際取引関係の形成
私たちキングジムグループの一員は、海外との取引にあたっては、関係法令を遵守すると共に、その文化や慣習を尊重し、良好な国際取引関係を形成します。

●反社会的勢力との対決
私たちキングジムグループの一員は、暴力団などの反社会的勢力・団体とは、一切の関わりを持ちません。また、不当な要求には一切応じません。

●独占禁止法の遵守
私たちキングジムグループの一員は、独占禁止法やその関係法令（景表法、下請法等）を遵守し、公正で、自由かつ透明な競争を行います。

●知的財産の尊重
私たちキングジムグループの一員は、キングジムグループの知的財産権を尊重すると共に、他人の権利を尊重します。

●不正競争の防止
私たちキングジムグループの一員は、不正競争防止法を遵守します。また、その精神に則り、オリジナリティーを尊重した商品開発を心がけると共に、常に業界のトップブランドであり続けます。

●基本的人権の尊重
私たちキングジムグループの一員は、基本的人権を擁護し、人を人として尊重すると共に、個人の尊厳を傷つけるような行為は行いません。

●労働関係法令の遵守
私たちキングジムグループの一員は、労働関係法令を遵守し、快適で安全な労働環境の維持・向上に努めます。

●ハラスメントの禁止
私たちキングジムグループの一員は、いかなるハラスメントも行いません。

●インサイダー取引の禁止
私たちキングジムグループの一員は、インサイダー取引を行いません。

●秘密情報の適切管理
私たちキングジムグループの一員は、営業秘密、ノウハウ、個人情報などの秘密情報を適切に管理します。私たちキングジムグループの一員は、これらを不正に使用したり、第三者に漏洩することは致しません。

第三者コメント

キングジムのCSR報告書2008を読んで

山口 真奈美

今回で3回目になるCSR報告書ですが、今回からCSRレポート·会社案内に改め新たな役割も加わりました。20周年となる「テプラ」にも見られるように、職場や生活の身近にあり続け、使用者の思いを細部にまで反映した製品を世に送り出し、開発型企業として新しいジャンル·市場を作りつづけている姿がよく表現されています。また、会社案内とも統合することで、トピックスにもあるようにキングジムが国内のみならずグローバルな企業だということがよく分かるようになっています。

開発の背景が見え、手にする製品に愛着が持てるような内容が織り込まれている点や、コミュニケーションを重視している姿が「イノベーション&デザイン」「顧客に対する価値の提供」のページから見受けられます。

環境については商品のライフステージごとの工夫による環境負荷の低減·独自の環境マークの制定の他、環境経営についても昨年に続いて良好な結果が出されており、素晴らしいと思います。環境会計の報告や、温暖化防止への取り組みとしてGHG(温室効果ガス)の排出量実績など、随所で今までの目標数値と努力の結果であろう高い達成率が明記されています。これからは、既に目標を達成出来た箇所について、更に計画の見直しをし、より高い目標を掲げてみるのがよいでしょう。

「従業員の尊重」にある障がい者雇用率や育児支援などの取得率も高い数値を達成しており、働く環境を大切にされ個人を尊重している姿が表れています。その背景としてどのような工夫がなされてきたのか、人事制度におけるグループ転換や育児短時間勤務制度の利用についても、どの程度浸透し従業員が活用できているのか、そのビジョンや目標が示されると、素晴らしい試みがさらに社内外にも伝わるのではないでしょうか。

マネジメントやコンプライアンスについては、従業員教育の中でどの程度理解されているのかについて、理解度を確認しながらCSR活動の自主的な広がりへと繋がればと思います。

全体的に誠実な報告がなされており、経年変化も実績を残しており評価できますが、求めるとすれば、今どの段階にあるのかを明確にするために、中長期の戦略や目標、今までの対策や施策と変わる点があるのかどうか、また今抱えている問題点への対策などを、より明確に分かりやすく示すことにより、発展し続ける企業の姿勢が示されると思います。

さらに、トップメッセージで古紙配合率などの事件に対して触れられていますが、具体的にどのような対応がなされたのかなども紙面に反映させると、キングジムならではの企業姿勢を見ることができ、さらに深みが増すことでしょう。

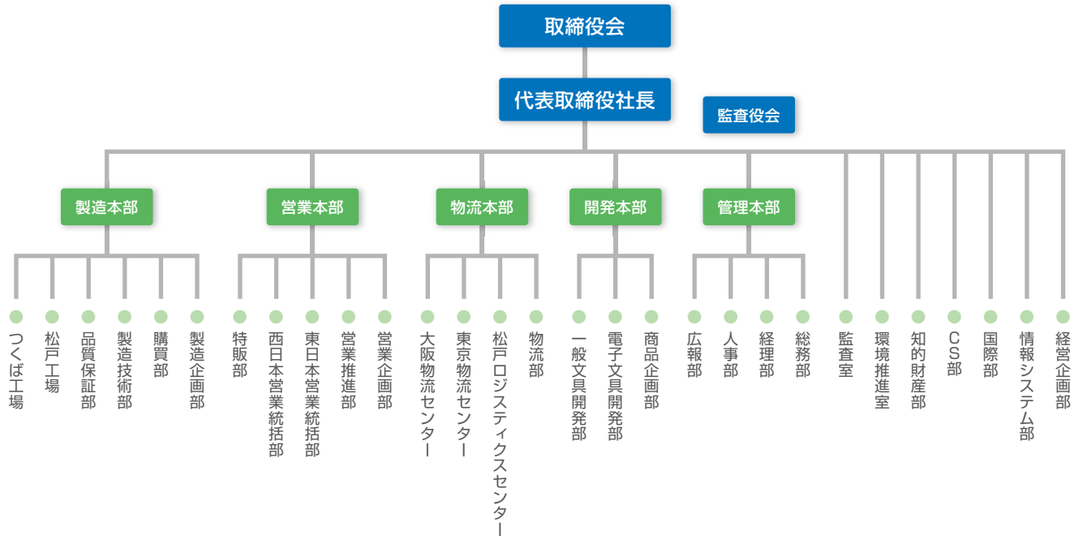
国内外問わず、すべての企業活動は有機的に連なり、それらのバランスの上に私たちの生活は成り立っています。経営理念である「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献すること」により、本業の周辺領域への展開も含め、激変する社会情勢と世界の中の日本の役割として、環境·社会·経済の調和と新たな文化の創造を発信し続け、世界に繋がるキングジムグループの企業価値の向上と世界の人々にとっても身近な存在となるよう一層の発展を期待したいと思います。

山口真奈美氏 プロフィール

環境教育·環境関連事業·審査監査などの業務及び研究を手がける。株式会社FEM代表取締役。Control Union Certifications Japan代表。Control Unionにおける認証審査業務(有機JAS·FSC·HACCP·GOTS·Organic Exchange等)は、有機農産物·森林·繊維·バイオマス·品質管理システムなど分野が多岐にわたる。経済学修士(環境経済学)·学術修士(環境科学)

- NPO法人 国産材 理事
- NPO法人 エコ·エコノミー協会 理事
- NPO法人 エコタウンしながわ 理事
- 有限責任事業組合 ビジネス推進機構 理事長

組織構成



役員体制

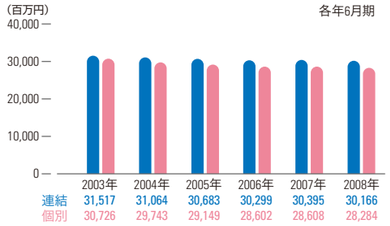
2008年9月現在

※ 印は執行役員を兼務しております。

	代表取締役社長	宮本　彰
※	専務取締役(管理本部長)	吉岡　隆昭
※	常務取締役(物流本部長　兼情報システム部担当)	宮本　英晴
※	常務取締役(製造本部長　兼環境推進室担当)	橋本　博之
※	常務取締役(開発本部長)	横田　英人
※	常務取締役(経営企画部担当　兼国際部担当)	表　匡聡
※	取締役(国内子会社担当)	岩澤　勝康
※	取締役(営業本部長　兼CS部担当)	西尾　保
	社外取締役	印南　一路
	常勤監査役	市村　憲治
	監査役	宇田川　登
	社外監査役	田中　誠
	社外監査役	遠山　勉
	執行役員(西日本営業統括部長)	橋部　修
	執行役員(営業本部副本部長　兼営業企画部長)	伊藤　和敏
	執行役員(管理本部副本部長　兼人事部担当　兼広報部担当)	泉澤　光春
	執行役員(経営企画部長　兼知的財産部　兼監査室担当)	萩田　直道
	執行役員(総務部長)	宮川　眞治

財務データ

売上高

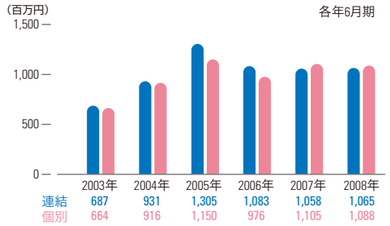


	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
連結	31,517	31,064	30,683	30,299	30,395	30,166
個別	30,726	29,743	29,149	28,602	28,608	28,284

経常利益

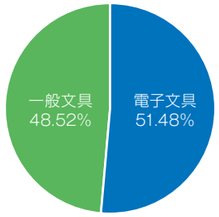
	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
連結	1,736	1,882	2,127	2,158	1,859	1,861
個別	1,700	1,869	1,863	2,006	1,819	1,785

当期純利益



	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
連結	687	931	1,305	1,083	1,058	1,065
個別	664	916	1,150	976	1,105	1,088

売上構成比



沿革

1927年	創業者・宮本英太郎が「特許人名簿」、「印鑑簿」を発売。
1947年	ルーズリーフ、バインダー、各種ファイル類を生産発売。
1948年	「株式会社名鑑堂」を設立。
1953年	大阪支店を開設。
1961年	社名を「株式会社キングジム」に改称。名古屋支店を開設。
1964年	「キングファイル G」を発売。
1967年	宮本健三が社長に就任。
1981年	福岡支店を開設。
1982年	宮本浩三が社長に就任。
1987年	東京店頭市場に株式を登録。
1988年	ラベルライター「テプラ」を発売。
1992年	宮本彰が社長に就任。
1993年	「キングファイルG」累計販売冊数1億冊、「テプラ」累計販売台数100万台を突破。
1996年	P.T.KING JIM INDONESIAを設立。
1998年	KING JIM(MALAYSIA)SDN.BHD.を設立。
	つくば工場と電子文具事業開発本部で、ISO9001の認証を取得。
	環境憲章制定。
1999年	つくば工場で、ISO14001の認証を取得。
2001年	東京証券取引所市場第二部に上場。
	長島商事株式会社(現ラドンナ)をグループ会社化。
2002年	中国に上海錦宮牧野国際貿易有限公司を設立。
	株式会社合同(現Gクラッセ)をグループ会社化。
2005年	点字もできる「テプラ」発売。
	営業推進部で「BS7799」「ISMS」(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証を取得。
	東京証券取引所市場第一部に指定。
2006年	CSR報告書を発行。
	営業推進部で「BS7799」「ISMS」から「ISO/IEC27001」へ移行。
2007年	KING JIM(VIETNAM)Co.,Ltd.を設立。
2008年	株式会社アスカ商会をグループ会社化。

国内グループ会社

株式会社キングビジネスサポート

キングジムグループ各社が本来の業務に専念し、企業価値を高めるためのビジネスサポート全般を行っています。総務・庶務・購買など周辺業務の見直しや企業リスクに関する保険の提案、従業員への福利厚生サービスの提供などを通して、効率的業務をサポートしています。

株式会社Gクラッセ

家庭でもオフィスでも使う人を引き立たせ、インテリアとのコーディネイト性に優れ、洗練されたデザインのファイル・収納用品や、実用的で使いやすく、スタイリッシュなオリジナルブランドの腕時計と置・掛時計を中心としたギフト用品の企画・開発・販売をおこなっています。また、名入れやオリジナル仕様等の特注品・相手先ブランド等によるOEMも数多くの実績があり、高い評価をいただいています。更に、「ジョイア・グスターレ」シリーズのようなこだわりのある商品など新しい領域への挑戦も行っています。

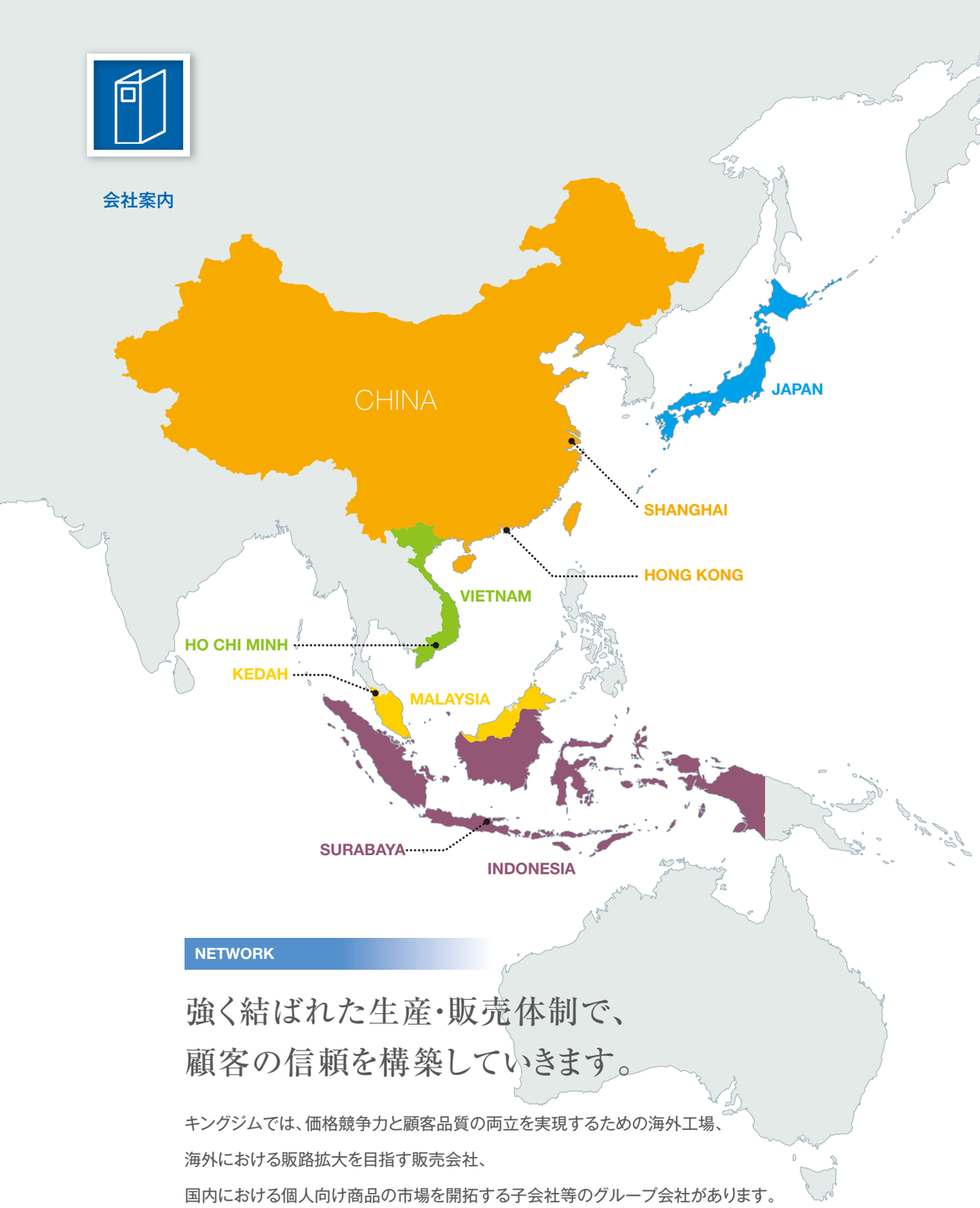
株式会社ラドンナ

デザイン性に優れ、オリジナリティとクオリティにあふれたフォトフレームの企画・販売を行っています。ギフト需要を中心に、百貨店店頭でシェアNo.1を誇っています。ベビーフレームやブライダルフレームにはかねてから根強い人気がありますが、全く新しい機構を搭載した「LAD-MOTION」も好評を博すなど、これまでとは違った商品展開もしています。また、フォトフレームにとどまらず、素敵な香りのある暮らしを演出する「アロマ」シリーズなど新しい商品にも挑戦しています。

株式会社アスカ商会

アーティフィシャル・フラワー(造花)やクリスマス・デコレーション、インテリア雑貨、観葉植物などの企画・販売会社。「asca」ブランドは、「高品質とファッショナブルな展開でこれまでの造花のイメージを変えた」という高い評価を業界内で得ています。古代文明からインスピレーションを受けた「ISIS'S」、墨絵のようなをコンセプトに水墨画の世界を草花で立体表現した「Sumiesque」など、新しい試みにも積極的に取り組んでいます。2008年3月21日にキングジムグループ入りしました。

会社案内



NETWORK

強く結ばれた生産・販売体制で、顧客の信頼を構築していきます。

キングジムでは、価格競争力と顧客品質の両立を実現するための海外工場、
海外における販路拡大を目指す販売会社、
国内における個人向け商品の市場を開拓する子会社等のグループ会社があります。
いずれもキングジムの築き上げてきたブランド力を背景に
強い組織力で結ばれています。
長年培ってきた生産・販売のノウハウを海外拠点や子会社経営で活かすことにより、
キングジムでは、グループをあげて常にお客様の声に応える商品作りの姿勢を切り拓き、
キングジムグループ全体の企業価値を更に高めてまいります。

事業所一覧

営業所・出張所

本社
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号
TEL.03-3862-2231（ダイヤルイン案内）

札幌営業所
〒062-0933 札幌市豊平区平岸三条三丁目1番27号
TEL.011-811-0593　FAX.011-822-7695

仙台営業所
〒984-0002 仙台市若林区卸町東二丁目1番23号
TEL.022-236-4110　FAX.022-236-2020

さいたま営業所
〒331-0812 さいたま市北区宮原町一丁目490番地
TEL.048-651-0198　FAX.048-651-8599

東京支店
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番9号
アルテビル東神田II
TEL.03-3864-0505　FAX.03-3864-0949

横浜営業所
〒231-0015 横浜市中区尾上町六丁目86番地1
関内マークビル5F
TEL.045-212-3280　FAX.045-212-3290

静岡出張所
〒422-8036 静岡市駿河区敷地二丁目22番23号
TEL.054-237-4318　FAX.054-237-7648

金沢出張所
〒921-8001 金沢市高畠三丁目190番地
TEL.076-291-6051　FAX.076-291-3343

名古屋支店
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目7番3号
TEL.052-935-6861　FAX.052-937-9214

大阪支店
〒542-0081 大阪市中央区南船場一丁目12番29号
TEL.06-6268-0401　FAX.06-6268-0410

広島営業所
〒730-0847 広島市中区舟入南三丁目13番6号
TEL.082-291-8458　FAX.082-294-9272

福岡支店
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南三丁目2番20号
博多ハッコウビル1F
TEL.092-471-6251　FAX.092-473-0430

鹿児島出張所
〒890-0056 鹿児島市下荒田三丁目42番3号
ラ・ファミーユ騎射場1F
TEL.099-257-9785　FAX.099-256-1273

香港駐在員事務所
Room1408,Beverly House,93-107Lockhart Road,Wanchai,Hong Kong
（香港Wanchai）

工場・物流センター

つくば工場
〒300-1281 茨城県牛久市桂町2200番地1
TEL.029-875-1331　FAX.029-875-1335

松戸工場
〒271-0064 千葉県松戸市上本郷228番地
TEL.047-361-1221　FAX.047-361-5768

松戸ロジスティクスセンター
〒271-0064 千葉県松戸市上本郷228番地
TEL.047-361-1220　FAX.047-361-6994

東京物流センター
〒134-0086 東京都江戸川区臨海町四丁目2番1号
TEL.03-3878-6060　FAX.03-3878-6070

大阪物流センター
〒553-0007 大阪市福島区大開四丁目1番18号
TEL.06-6466-6030　FAX.06-6466-6031

主要な連結子会社

株式会社キングビジネスサポート
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番7号
クラウン高橋ビル2F
TEL.03-3864-5646　FAX.03-3864-5647

株式会社Gクラッセ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル
［合同事業部］
TEL.03-5646-5026　FAX.03-5646-5028
［クラッセ事業部］
TEL.03-5646-5027　FAX.03-5646-5028

株式会社ラドンナ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル
TEL.03-5620-2780　FAX.03-5620-2781

株式会社アスカ商会
〒464-0003 愛知県名古屋市千種区新西一丁目2番10号
TEL.052-772-5216　FAX.052-772-7707

P.T.KING JIM INDONESIA
インドネシア 東ジャワ州パスルアン県

KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.
マレーシア ケダ州スンガイペタニ市

上海錦宮牧野国際貿易有限公司
中国 上海市

KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.
ベトナム ビンズン省

海外生産会社

P.T.KING JIM INDONESIA
クリアーファイルを中心とした、化成品ファイルを生産する工場です。1996年に設立しました。

KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.
キングファイルの心臓部ともいえる金属とじ具の生産工場です。1998年に設立しました。

KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.
キングファイルを中心とした、事務用ファイルを生産する工場です。2007年に設立しました。

海外販売会社

上海錦宮牧野国際貿易有限公司
経済発展の著しい中国市場に、ファイルを中心とした文具、事務用品を販売する目的で、2002年に中国・上海に設立しました。

上海市内の百貨店